

令和元年度奄美市幸福度調査アンケート

— 調査結果報告書 —

令和元年 9 月

奄美市

目 次

I 調査概要

1. 調査の目的	1
2. 調査対象	1
3. 調査方法	1
4. 調査期間	1
5. 回収数	1
6. 調査項目	2

II 調査結果

1. 回答者の属性	3
2. 集計結果	4
(1) 生活の満足度／あなたは日常生活に対して満足していますか？	4
(2) 将来への希望度／あなたは将来に希望を持っていますか？	5
(3) 結い度／あなたが困っている時、助けてくれる人や相談できる人はいますか？	6
(4) 愛着度／あなたは奄美が好きですか？	7
(5) 教育環境の満足度／奄美は、子どもがいきいきと健やかに、心豊かに育つ島であると思いますか？	8
(6) 医療・福祉環境の満足度／奄美は、医療機関や福祉が充実していると思いますか？	9
(7) 地産地消度／あなたは地元産の食材を食べた時に幸せだなと思いますか？	10
(8) 招待意向度／あなたは奄美に友人・知人を呼びたいと思いますか？	11
(9) おもてなし意向度／あなたは島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいですか？	12
(10) 永住希望度／あなたは今後も奄美に住み続けたいですか？	13
(11) 各項目の比較	14
(12) 日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？	15
(13) 日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？	23
(14) テキストマイニングによる「幸せ」や「満足」と感じること、「不幸」や「不満」と感じることの分析	31
3. 奄美幸福度指数	35
(1) 奄美幸福度 DI	35
(2) レーダーチャート	36
4. 平成 28、29、30 年度との比較	37
(1) 生活の満足度／あなたは日常生活に対して満足していますか？	37
(2) 将来への希望度／あなたは将来に希望を持っていますか？	39
(3) 結い度／あなたが困っている時、助けてくれる人や相談できる人はいますか？	41
(4) 愛着度／あなたは奄美が好きですか？	43
(5) 教育環境の満足度／奄美は、子どもがいきいきと健やかに、心豊かに育つ島であると思いますか？	45
(6) 医療・福祉環境の満足度／奄美は、医療機関や福祉が充実していると思いますか？	47
(7) 地産地消度／あなたは地元産の食材を食べた時に幸せだなと思いますか？	49
(8) 招待意向度／あなたは奄美に友人・知人を呼びたいと思いますか？	51
(9) おもてなし意向度／あなたは島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいですか？	53
(10) 永住希望度／あなたは今後も奄美に住み続けたいですか？	55

参考資料

アンケート調査票	57
----------	----

I 調査概要

平成 27 年 12 月に策定された「～しあわせの島へ～奄美市『攻め』の総合戦略（まち・ひと・しごと創生総合戦略）」の事業実施によって、島の目指すべき姿である「しあわせの島」に近づいているか、市民を対象としたアンケート調査を実施し、奄美幸福度指数（AHI：Amami Happiness Index）を算出した。

1. 調査の目的

○奄美市では、平成 27 年 12 月に策定した「～しあわせの島へ～奄美市『攻め』の総合戦略（まち・ひと・しごと創生総合戦略）」において、島の目指すべき姿として「しあわせの島」を提示し「しあわせの島」の重要目標達成指標（KGI）は、住民がしあわせに暮らしていると実感している指数＝奄美幸福度指数（AHI：Amami Happiness Index）とした。

○市民を対象としたアンケート調査を実施し、総合戦略の事業実施によって奄美が「しあわせの島」に近づいているか、奄美幸福度指数を算出し、その達成度を把握するとともに、事業の進捗状況及び見直しの基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査対象

○15 歳以上の市民 2,000 人とし、性別・年代別・居住地区別の対象者数は以下のとおり。

〔性別・年代別・居住地区別 対象者数〕

年代	名瀬		住用			笠利			合計		
	男性	女性	男性	女性	男性	女性	男性	女性	構成比		
15～19 歳	92	47	45	25	15	10	30	15	15	147	7.4%
20 歳代	129	65	64	30	15	15	30	15	15	189	9.5%
30 歳代	210	103	107	30	15	15	30	15	15	270	13.5%
40 歳代	221	111	110	30	15	15	31	15	16	282	14.1%
50 歳代	225	113	112	30	15	15	40	20	20	295	14.8%
60 歳代	243	120	123	30	15	15	60	32	28	333	16.7%
70 歳代	201	94	107	30	15	15	41	19	22	272	13.6%
80 歳以上	145	52	93	30	15	15	37	13	24	212	10.6%
合計	1,466	705	761	235	120	115	299	144	155	2,000	100.0%

※構成比は四捨五入をしているため、各年代の和と合計は一致しない。

3. 調査方法

○郵送配布・郵送回収。

4. 調査期間

○令和元年 8 月

5. 回収数

○有効回答数：629 件（回収率：31.5%）

6. 調査項目

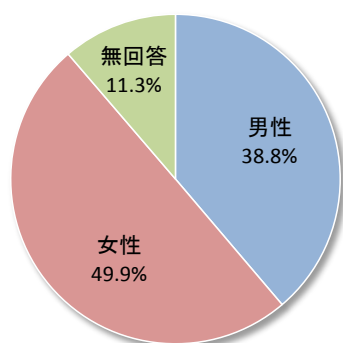
- 回答者の属性（性別、年代、居住地区）
- あなたは日常生活に対して満足していますか？
- あなたは将来に希望を持っていますか？
- あなたが困っている時、助けてくれる人や相談できる人はいますか？
- あなたは奄美が好きですか？
- 奄美は、子どもがいきいきと健やかに、心豊かに育つ島であると思いますか？
- 奄美は、医療機関や福祉が充実していると思いますか？
- あなたは地元産の食材を食べた時に幸せだなと思いますか？
- あなたは奄美に友人・知人を呼びたいと思いますか？
- あなたは島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいですか？
- あなたは今後も奄美に住み続けたいですか？
- 日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じる事
- 日々の生活で「不幸」または「不満」に感じる事

Ⅱ 調査結果

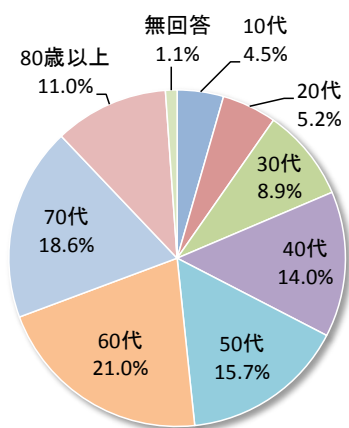
1. 回答者の属性

回答者 629 人の属性は、以下のとおりとなっている。

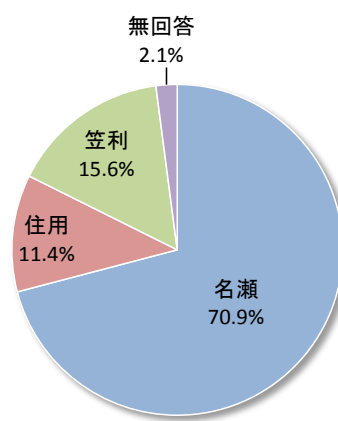
〔性別 N=629〕



〔年代 N=629〕



〔居住地区 N=629〕



2. 集計結果

(1) 生活の満足度／あなたは日常生活に対して満足していますか？

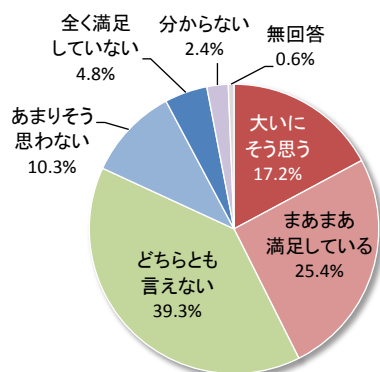
日常生活に対して満足しているか（生活の満足度）について、「どちらとも言えない」が39.3%で最も多く、次いで「まあまあ満足している」が25.4%の順となっている。『満足している（「大いに満足している」と「まあまあ満足している」の合計）』は42.6%で4割以上となっており、『満足していない（「あまり満足していない」と「全く満足していない」の合計）』の15.1%を上回っている。

これを属性別にみると、性別では、男女とも全体と同様に「どちらとも言えない」が最も多く、次いで「まあまあ満足している」となっているが、『満足している』は男性が43.4%なのに対し、女性は45.9%と男性に比べ多くなっている。

年代別では、20歳以上は全体と同様に「どちらとも言えない」、10歳代は「まあまあ満足している」がそれぞれ最も多い。10歳代は『満足している』が64.3%と6割を超えている。

居住地区別では、どの地区とも全体と同様に「どちらとも言えない」がそれぞれ最も多く、地区で大きな違いは見られない。

〔生活の満足度／あなたは日常生活に対して満足していますか？ N=629〕



		大いに満足している	まあまあ満足している	どちらとも言えない	あまり満足していない	全く満足していない	分からない	無回答
性別	男性(N=244)	45 18.4%	61 25.0%	99 40.6%	26 10.7%	6 2.5%	5 2.0%	2 0.8%
	女性(N=314)	57 18.2%	87 27.7%	110 35.0%	32 10.2%	18 5.7%	8 2.5%	2 0.6%
年代別	10代(N=28)	8 28.6%	10 35.7%	9 32.1%	- 0.0%	1 3.6%	- 0.0%	- 0.0%
	20代(N=33)	3 9.1%	11 33.3%	13 39.4%	2 6.1%	3 9.1%	1 3.0%	- 0.0%
	30代(N=56)	12 21.4%	11 19.6%	22 39.3%	9 16.1%	1 1.8%	1 1.8%	- 0.0%
	40代(N=88)	14 15.9%	20 22.7%	39 44.3%	9 10.2%	5 5.7%	- 0.0%	1 1.1%
	50代(N=99)	21 21.2%	27 27.3%	34 34.3%	13 13.1%	3 3.0%	1 1.0%	- 0.0%
	60代(N=132)	20 15.2%	34 25.8%	60 45.5%	13 9.8%	2 1.5%	1 0.8%	2 1.5%
	70代(N=117)	17 14.5%	34 29.1%	41 35.0%	15 12.8%	7 6.0%	3 2.6%	- 0.0%
	80歳以上(N=69)	13 18.8%	12 17.4%	25 36.2%	3 4.3%	7 10.1%	8 11.6%	1 1.4%
居住地区別	名瀬(N=446)	75 16.8%	116 26.0%	180 40.4%	46 10.3%	21 4.7%	6 1.3%	2 0.4%
	住用(N=72)	15 20.8%	17 23.6%	18 25.0%	7 9.7%	5 6.9%	9 12.5%	1 1.4%
	笠利(N=98)	16 16.3%	26 26.5%	43 43.9%	9 9.2%	3 3.1%	- 0.0%	1 1.0%

(2) 将来への希望度／あなたは将来に希望を持っていますか？

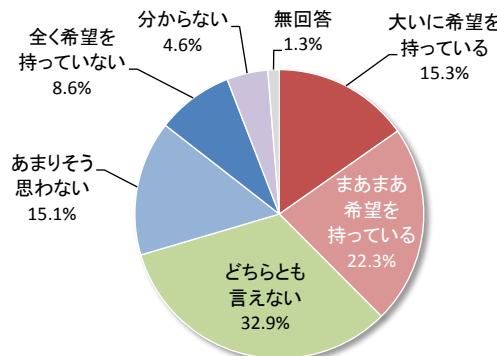
将来に希望を持っているか（将来への希望度）について、「どちらとも言えない」が 32.9%で最も多く、次いで「まあまあ希望を持っている」が 22.3%の順となっている。『希望を持っている（「大いに希望を持っている」と「まあまあ希望を持っている」の合計）』は 37.6%と約4割となっている一方、『希望を持っていない（「あまり希望を持っていない」と「全く希望を持っていない」の合計）』も 23.7%と2割以上見られる。

これを属性別にみると、性別では、男女とも全体と同様に「どちらとも言えない」が最も多く、次いで「まあまあ希望を持っている」となっているが、『希望を持っていない』は男性が 18.0%なのに対し、女性は 25.5%と男性に比べ多くなっている。

年代別では、20～30 歳代、50 歳以上は全体と同様に「どちらとも言えない」、10 歳代と 40 歳代は「まあまあ希望を持っている」がそれぞれ最も多くなっている。10 歳代は『希望を持っている』が 85.7%と他年代に比べ突出している一方、30 歳代は『希望を持っていない』が 30.4%と3割を超えている。

居住地区別では、名瀬と笠利は全体と同様に「どちらとも言えない」が最も多く、住用は「大いに希望を持っている」と「まあまあ希望を持っている」、「どちらとも言えない」が 22.2%で同率となっている。住用は『希望を持っている』が 44.4%と4割以上となっている一方、笠利は『希望を持っていない』が 29.6%と約3割となっている。

〔将来への希望度／あなたは将来に希望を持っていますか？ N=629〕



		大いに希望を持っている	まあまあ希望を持っている	どちらとも言えない	あまり希望を持っていない	全く希望を持っていない	分からない	無回答
性別	男性(N=244)	41 16.8%	57 23.4%	95 38.9%	31 12.7%	13 5.3%	7 2.9%	- 0.0%
	女性(N=314)	49 15.6%	70 22.3%	93 29.6%	50 15.9%	30 9.6%	18 5.7%	4 1.3%
年代	10代(N=28)	11 39.3%	13 46.4%	3 10.7%	1 3.6%	- 0.0%	- 0.0%	- 0.0%
	20代(N=33)	5 15.2%	6 18.2%	14 42.4%	4 12.1%	1 3.0%	3 9.1%	- 0.0%
	30代(N=56)	11 19.6%	10 17.9%	18 32.1%	10 17.9%	7 12.5%	- 0.0%	- 0.0%
	40代(N=88)	12 13.6%	27 30.7%	22 25.0%	18 20.5%	8 9.1%	1 1.1%	- 0.0%
	50代(N=99)	17 17.2%	22 22.2%	37 37.4%	14 14.1%	5 5.1%	4 4.0%	- 0.0%
	60代(N=132)	15 11.4%	31 23.5%	50 37.9%	20 15.2%	8 6.1%	3 2.3%	5 3.8%
	70代(N=117)	14 12.0%	24 20.5%	39 33.3%	21 17.9%	12 10.3%	6 5.1%	1 0.9%
	80歳以上(N=69)	11 15.9%	7 10.1%	19 27.5%	7 10.1%	11 15.9%	12 17.4%	2 2.9%
	居住地区	名瀬(N=446)	64 14.3%	104 23.3%	156 35.0%	69 15.5%	36 8.1%	15 3.4%
住用(N=72)		16 22.2%	16 22.2%	16 22.2%	4 5.6%	5 6.9%	11 15.3%	4 5.6%
笠利(N=98)		14 14.3%	18 18.4%	32 32.7%	19 19.4%	10 10.2%	3 3.1%	2 2.0%

(3) 結い度／あなたが困っている時、助けてくれる人や相談できる人はいますか？

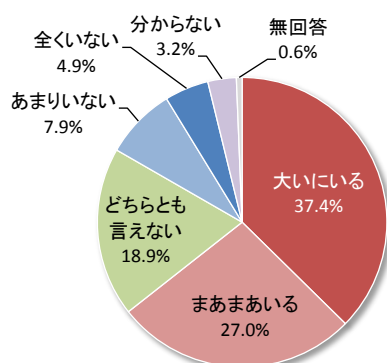
困っている時、助けてくれる人や相談できる人はいるか(結い度)について、「大いにいる」が37.4%で最も多く、次いで「まあまあいる」が27.0%の順となっている。『いる(「大いにいる」と「まあまあいる」の合計)』は64.4%で6割以上となっており、『いない(「あまりいない」と「全くいない」の合計)』の12.8%を大きく上回っている。

これを属性別にみると、性別では、男女とも全体と同様に「大いにいる」がそれぞれ最も多い。『いる』は男性が64.3%なのに対し、女性は67.2%と男性に比べ多くなっている。

年代別では、10～50歳代と70歳以上は全体と同様に「大いにいる」、60歳代は「まあまあいる」がそれぞれ最も多くなっている。全ての年代で『いる』が5割を超えているが、特に10歳代は89.3%、20歳代は75.8%と他年代に比べ多くなっている。

居住地区別では、どの地区とも全体と同様に「大いにいる」がそれぞれ最も多い。笠利は『いる』が71.4%と7割を超えている一方、名瀬では『いない』が13.7%と他地区に比べ多くなっている。

〔結い度／あなたが困っている時、助けてくれる人や相談できる人はいますか？ N=629〕



		大いにいる	まあまあいる	どちらとも言えない	あまりいない	全くいない	分からない	無回答
性別	男性(N=244)	77 31.6%	80 32.8%	54 22.1%	19 7.8%	9 3.7%	4 1.6%	1 0.4%
	女性(N=314)	133 42.4%	78 24.8%	53 16.9%	21 6.7%	13 4.1%	14 4.5%	2 0.6%
年代	10代(N=28)	14 50.0%	11 39.3%	3 10.7%	-	-	-	-
	20代(N=33)	14 42.4%	11 33.3%	5 15.2%	2 6.1%	1 3.0%	-	-
	30代(N=56)	24 42.9%	14 25.0%	9 16.1%	7 12.5%	1 1.8%	1 1.8%	-
	40代(N=88)	31 35.2%	27 30.7%	18 20.5%	7 8.0%	5 5.7%	-	-
	50代(N=99)	39 39.4%	23 23.2%	24 24.2%	9 9.1%	2 2.0%	2 2.0%	-
	60代(N=132)	32 24.2%	45 34.1%	34 25.8%	9 6.8%	5 3.8%	4 3.0%	3 2.3%
	70代(N=117)	46 39.3%	29 24.8%	18 15.4%	10 8.5%	11 9.4%	3 2.6%	-
	80歳以上(N=69)	33 47.8%	8 11.6%	7 10.1%	4 5.8%	6 8.7%	10 14.5%	1 1.4%
居住地区	名瀬(N=446)	165 37.0%	121 27.1%	89 20.0%	41 9.2%	20 4.5%	9 2.0%	1 0.2%
	住用(N=72)	28 38.9%	16 22.2%	13 18.1%	2 2.8%	2 2.8%	9 12.5%	2 2.8%
	笠利(N=98)	38 38.8%	32 32.7%	16 16.3%	4 4.1%	5 5.1%	2 2.0%	1 1.0%

(4) 愛着度／あなたは奄美が好きですか？

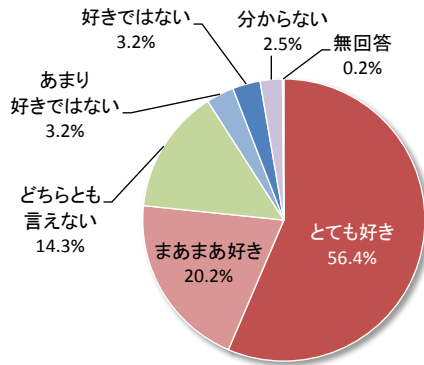
奄美が好きか（愛着度）について、「とても好き」が 56.4%で最も多く、次いで「まあまあ好き」が 20.2%の順となっている。『好き（「とても好き」と「まあまあ好き」の合計）』は 76.6%で約8割となっており、『好きではない（「あまり好きではない」と「好きではない」の合計）』の 6.4%を大きく上回っている。

これを属性別にみると、性別では、男女とも全体と同様に「とても好き」が最も多く、次いで「まあまあ好き」となっているが、『好き』は女性が 75.5%なのに対し、男性は 80.3%と8割を超え、女性に比べ多くなっている。

年代別では、全ての年代で全体と同様に「とても好き」が最も多くなっている。特に 10歳代と 60歳代は8割以上を『好き』が占め、他年代に比べ多くなっている一方、30歳代は『好きではない』が 12.5%と1割以上見られる。

居住地区別では、どの地区とも全体と同様に「とても好き」が最も多く、次いで名瀬、住用は「まあまあ好き」、笠利は「どちらとも言えない」となっており、特に笠利は『好き』が 83.7%で8割以上となっており、他地区に比べ多くなっている。

〔愛着度／あなたは奄美が好きですか？ N=629〕



		とても好き	まあまあ好き	どちらとも言えない	あまり好きではない	好きではない	分からない	無回答
性別	男性(N=244)	142 58.2%	54 22.1%	39 16.0%	3 1.2%	2 0.8%	4 1.6%	- 0.0%
	女性(N=314)	171 54.5%	66 21.0%	41 13.1%	15 4.8%	10 3.2%	10 3.2%	1 0.3%
年代	10代(N=28)	16 57.1%	8 28.6%	4 14.3%	- 0.0%	- 0.0%	- 0.0%	- 0.0%
	20代(N=33)	17 51.5%	8 24.2%	7 21.2%	- 0.0%	1 3.0%	- 0.0%	- 0.0%
	30代(N=56)	24 42.9%	14 25.0%	10 17.9%	6 10.7%	1 1.8%	1 1.8%	- 0.0%
	40代(N=88)	45 51.1%	18 20.5%	16 18.2%	4 4.5%	3 3.4%	2 2.3%	- 0.0%
	50代(N=99)	52 52.5%	27 27.3%	14 14.1%	3 3.0%	2 2.0%	- 0.0%	1 1.0%
	60代(N=132)	81 61.4%	29 22.0%	16 12.1%	4 3.0%	1 0.8%	1 0.8%	- 0.0%
	70代(N=117)	73 62.4%	14 12.0%	16 13.7%	2 1.7%	7 6.0%	5 4.3%	- 0.0%
	80歳以上(N=69)	44 63.8%	7 10.1%	7 10.1%	- 0.0%	4 5.8%	7 10.1%	- 0.0%
	居住地区	名瀬(N=446)	239 53.6%	103 23.1%	66 14.8%	14 3.1%	14 3.1%	9 2.0%
住用(N=72)		42 58.3%	10 13.9%	9 12.5%	2 2.8%	2 2.8%	7 9.7%	- 0.0%
笠利(N=98)		70 71.4%	12 12.2%	13 13.3%	1 1.0%	2 2.0%	- 0.0%	- 0.0%

(5) 教育環境の満足度／奄美は、子どもがいきいきと健やかに、心豊かに育つ島であると思いますか？

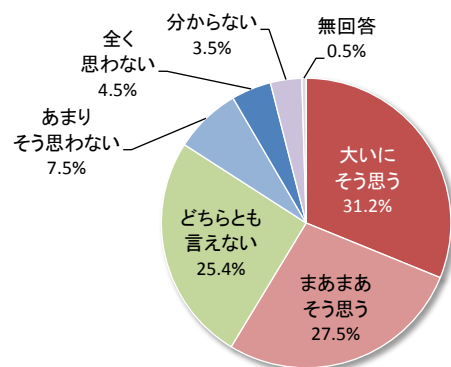
子どもがいきいきと健やかに、心豊かに育つ島であると思うか（教育環境の満足度）について、「大いにそう思う」が 31.2%で最も多く、次いで「そう思う」が 27.5%の順となっている。『そう思う（「大いにそう思う」と「そう思う」の合計）』は 58.7%で約6割となっており、『そう思わない（「あまりそう思わない」と「全く思わない」の合計）』の 12.0%を上回っている。

これを属性別にみると、男女とも全体と同様に「大いにそう思う」がそれぞれ最も多く、次いで「そう思う」となっており、性別で大きな違いは見られない。

年代別では、10歳代と30～40歳代、70歳以上は全体と同様に「大いにそう思う」、50歳代は「そう思う」、20歳代と60歳代は「どちらとも言えない」がそれぞれ最も多くなっている。子育て世代の30歳代と40歳代については、『そう思わない』がそれぞれ19.6%、17.0%と他年代に比べ多くなっている。

居住地区別では、どの地区とも全体と同様に「大いにそう思う」、次いで「そう思う」がそれぞれ最も多くなっている一方、名瀬は『そう思う』が 57.2%と他地区に比べ少なくなっている。

〔教育環境の満足度／奄美は、子どもがいきいきと健やかに、心豊かに育つ島であると思いますか？ N=629〕



		大いにそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全く思わない	分からない	無回答
性別	男性(N=244)	74 30.3%	72 29.5%	64 26.2%	20 8.2%	7 2.9%	6 2.5%	1 0.4%
	女性(N=314)	102 32.5%	89 28.3%	70 22.3%	22 7.0%	15 4.8%	14 4.5%	2 0.6%
年代	10代(N=28)	12 42.9%	6 21.4%	8 28.6%	1 3.6%	1 3.6%	- 0.0%	- 0.0%
	20代(N=33)	9 27.3%	8 24.2%	10 30.3%	3 9.1%	1 3.0%	2 6.1%	- 0.0%
	30代(N=56)	19 33.9%	15 26.8%	11 19.6%	10 17.9%	1 1.8%	- 0.0%	- 0.0%
	40代(N=88)	28 31.8%	23 26.1%	21 23.9%	8 9.1%	7 8.0%	1 1.1%	- 0.0%
	50代(N=99)	30 30.3%	36 36.4%	23 23.2%	4 4.0%	4 4.0%	1 1.0%	1 1.0%
	60代(N=132)	37 28.0%	37 28.0%	39 29.5%	10 7.6%	6 4.5%	2 1.5%	1 0.8%
	70代(N=117)	39 33.3%	31 26.5%	27 23.1%	10 8.5%	3 2.6%	6 5.1%	1 0.9%
	80歳以上(N=69)	22 31.9%	15 21.7%	17 24.6%	1 1.4%	5 7.2%	9 13.0%	- 0.0%
	居住地区	名瀬(N=446)	129 28.9%	126 28.3%	121 27.1%	36 8.1%	19 4.3%	13 2.9%
住用(N=72)		24 33.3%	20 27.8%	13 18.1%	3 4.2%	3 4.2%	8 11.1%	1 1.4%
笠利(N=98)		41 41.8%	25 25.5%	19 19.4%	6 6.1%	6 6.1%	1 1.0%	- 0.0%

(6) 医療・福祉環境の満足度／奄美は、医療機関や福祉が充実していると思いますか？

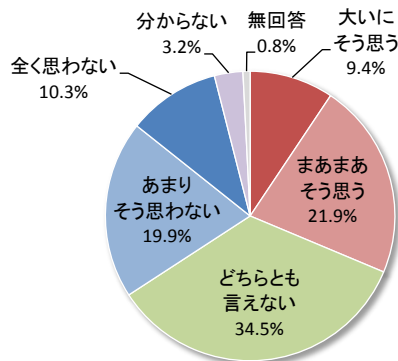
医療機関や福祉が充実していると思うか（医療・福祉環境の満足度）について、「どちらとも言えない」が 34.5%で最も多く、『そう思う（「大いにそう思う」と「そう思う」の合計）』は 31.3%なのに対し、『そう思わない（「あまりそう思わない」と「全く思わない」の合計）』も 30.2%と 3 割以上見られる。

これを属性別にみると、性別では、男女とも全体と同様に「どちらとも言えない」が最も多く、次いで男性は「そう思う」、女性は「あまりそう思わない」となっており、『そう思う』は男性が 38.1%なのに対し、女性は 24.8%と男性に比べ少なくなっている。

年代別では、10 歳代と 30～60 歳代、80 歳以上は全体と同様に「どちらとも言えない」、20 歳代、70 歳代は「そう思う」がそれぞれ最も多くなっている。10 歳代と 70 歳以上は『そう思う』が 4 割以上となっているのに対し、20～40 歳代は『そう思わない』が 4 割を超えている。

居住地区別では、どの地区とも全体と同様に「どちらとも言えない」が最も多くなっているが、笠利は『そう思わない』が 32.7%と他地区に比べ多くなっている。

〔医療・福祉環境の満足度／奄美は、医療機関や福祉が充実していると思いますか？ N=629〕



		大いにそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全く思わない	分からない	無回答
性別	男性(N=244)	24 9.8%	69 28.3%	84 34.4%	43 17.6%	16 6.6%	6 2.5%	2 0.8%
	女性(N=314)	27 8.6%	51 16.2%	115 36.6%	68 21.7%	41 13.1%	10 3.2%	2 0.6%
年代	10代(N=28)	5 17.9%	7 25.0%	10 35.7%	3 10.7%	2 7.1%	1 3.6%	- 0.0%
	20代(N=33)	- 0.0%	9 27.3%	8 24.2%	6 18.2%	8 24.2%	2 6.1%	- 0.0%
	30代(N=56)	3 5.4%	5 8.9%	20 35.7%	17 30.4%	11 19.6%	- 0.0%	- 0.0%
	40代(N=88)	6 6.8%	11 12.5%	29 33.0%	27 30.7%	12 13.6%	2 2.3%	1 1.1%
	50代(N=99)	2 2.0%	19 19.2%	40 40.4%	25 25.3%	11 11.1%	1 1.0%	1 1.0%
	60代(N=132)	13 9.8%	32 24.2%	49 37.1%	27 20.5%	10 7.6%	1 0.8%	- 0.0%
	70代(N=117)	16 13.7%	38 32.5%	34 29.1%	17 14.5%	6 5.1%	4 3.4%	2 1.7%
	80歳以上(N=69)	13 18.8%	16 23.2%	24 34.8%	3 4.3%	3 4.3%	9 13.0%	1 1.4%
	居住地区	名瀬(N=446)	46 10.3%	99 22.2%	153 34.3%	92 20.6%	45 10.1%	8 1.8%
住用(N=72)		6 8.3%	13 18.1%	27 37.5%	9 12.5%	5 6.9%	10 13.9%	2 2.8%
笠利(N=98)		5 5.1%	26 26.5%	33 33.7%	21 21.4%	11 11.2%	2 2.0%	- 0.0%

(7) 地産地消度／あなたは地元産の食材を食べた時に幸せだと思えますか？

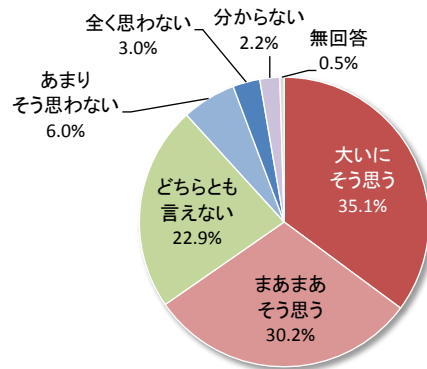
地元産の食材を食べた時に幸せだと思うか（地産地消度）について、「大いにそう思う」が35.1%で最も多く、『そう思う（「大いにそう思う」と「そう思う」の合計）』は65.3%で6割以上と、『そう思わない（「あまりそう思わない」と「全く思わない」の合計）』の9.0%を大きく上回っている。

これを属性別にみると、性別では、女性は全体と同様に「大いにそう思う」、男性は「まあまあそう思う」がそれぞれ最も多くなっている。

年代別では、30歳代と50～60歳代、80歳以上は全体と同様に「大いにそう思う」、30歳代は「大いにそう思う」と「そう思う」が同率で、10～20歳代と40歳代と、70歳代は「そう思う」がそれぞれ最も多くなっている。10～20歳代は『そう思う』が7割を超えている一方、30歳代は『そう思わない』が16.1%と他年代に比べ多くなっている。

居住地区別では、どの地区とも全体と同様に「大いにそう思う」が最も多くなっている。笠利は『そう思う』が74.5%と他地区に比べ多くなっている一方、住用では『そう思わない』が13.9%と他地区に比べ多くなっている。

〔地産地消度／あなたは地元産の食材を食べた時に幸せだと思えますか？ N=629〕



		大いにそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全く思わない	分からない	無回答
性別	男性(N=244)	73 29.9%	87 35.7%	64 26.2%	11 4.5%	3 1.2%	4 1.6%	2 0.8%
	女性(N=314)	123 39.2%	90 28.7%	63 20.1%	21 6.7%	8 2.5%	8 2.5%	1 0.3%
年代	10代(N=28)	9 32.1%	13 46.4%	5 17.9%	- 0.0%	- 0.0%	1 3.6%	- 0.0%
	20代(N=33)	12 36.4%	13 39.4%	6 18.2%	1 3.0%	1 3.0%	- 0.0%	- 0.0%
	30代(N=56)	17 30.4%	17 30.4%	13 23.2%	9 16.1%	- 0.0%	- 0.0%	- 0.0%
	40代(N=88)	26 29.5%	28 31.8%	25 28.4%	3 3.4%	4 4.5%	1 1.1%	1 1.1%
	50代(N=99)	37 37.4%	29 29.3%	22 22.2%	6 6.1%	3 3.0%	1 1.0%	1 1.0%
	60代(N=132)	44 33.3%	41 31.1%	37 28.0%	7 5.3%	2 1.5%	- 0.0%	1 0.8%
	70代(N=117)	36 30.8%	37 31.6%	28 23.9%	8 6.8%	5 4.3%	3 2.6%	- 0.0%
	80歳以上(N=69)	38 55.1%	10 14.5%	6 8.7%	3 4.3%	4 5.8%	8 11.6%	- 0.0%
	居住地区	名瀬(N=446)	152 34.1%	137 30.7%	109 24.4%	28 6.3%	11 2.5%	6 1.3%
住用(N=72)		22 30.6%	20 27.8%	12 16.7%	6 8.3%	4 5.6%	8 11.1%	- 0.0%
笠利(N=98)		41 41.8%	32 32.7%	19 19.4%	3 3.1%	3 3.1%	- 0.0%	- 0.0%

(8) 招待意向度／あなたは奄美に友人・知人を呼びたいと思いますか？

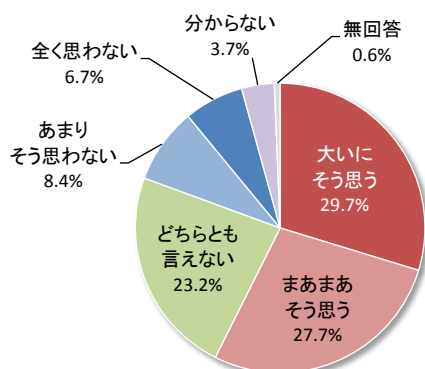
奄美に友人・知人を呼びたいと思うか(招待意向度)について、「大いにそう思う」が29.7%と最も多く、次いで「そう思う」が27.7%の順となっている。『そう思う(「大いにそう思う」と「そう思う」の合計)』は57.4%で約6割となっており、『そう思わない(「あまりそう思わない」と「全く思わない」の合計)』の15.1%を上回っている。

これを属性別にみると、性別では、男女とも全体と同様に「大いにそう思う」がそれぞれ最も多くなっており、性別で大きな違いは見られない。

年代別では、10～40歳代と80歳以上は全体と同等に「大いにそう思う」、50歳代は「そう思う」、60歳代は「そう思う」と「どちらとも言えない」が同率で、70歳代は「どちらとも言えない」がそれぞれ最も多くなってきている。『そう思う』は20歳代で7割を超える一方、70～80歳以上は48.7%、47.8%と5割を下回っている。

居住地区別では、どの地区とも全体と同様に「大いにそう思う」が最も多く、次いで名瀬と笠利は「そう思う」、住用は「どちらとも言えない」となっている。

〔招待意向度／あなたは奄美に友人・知人を呼びたいと思いますか？ N=629〕



		大いにそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全く思わない	分からない	無回答
性別	男性(N=244)	75 30.7%	69 28.3%	64 26.2%	19 7.8%	9 3.7%	5 2.0%	3 1.2%
	女性(N=314)	94 29.9%	92 29.3%	69 22.0%	23 7.3%	21 6.7%	15 4.8%	- 0.0%
年代	10代(N=28)	10 35.7%	9 32.1%	6 21.4%	1 3.6%	1 3.6%	1 3.6%	- 0.0%
	20代(N=33)	14 42.4%	11 33.3%	4 12.1%	2 6.1%	1 3.0%	- 0.0%	1 3.0%
	30代(N=56)	18 32.1%	14 25.0%	11 19.6%	10 17.9%	2 3.6%	1 1.8%	- 0.0%
	40代(N=88)	32 36.4%	24 27.3%	19 21.6%	7 8.0%	6 6.8%	- 0.0%	- 0.0%
	50代(N=99)	30 30.3%	35 35.4%	24 24.2%	3 3.0%	6 6.1%	1 1.0%	- 0.0%
	60代(N=132)	35 26.5%	36 27.3%	36 27.3%	14 10.6%	7 5.3%	4 3.0%	- 0.0%
	70代(N=117)	29 24.8%	28 23.9%	32 27.4%	10 8.5%	11 9.4%	5 4.3%	2 1.7%
	80歳以上(N=69)	17 24.6%	16 23.2%	12 17.4%	6 8.7%	7 10.1%	10 14.5%	1 1.4%
居住地区	名瀬(N=446)	128 28.7%	127 28.5%	103 23.1%	43 9.6%	28 6.3%	13 2.9%	4 0.9%
	住用(N=72)	21 29.2%	14 19.4%	19 26.4%	4 5.6%	5 6.9%	9 12.5%	- 0.0%
	笠利(N=98)	34 34.7%	32 32.7%	22 22.4%	4 4.1%	5 5.1%	1 1.0%	- 0.0%

(9) おもてなし意向度／あなたは島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいですか？

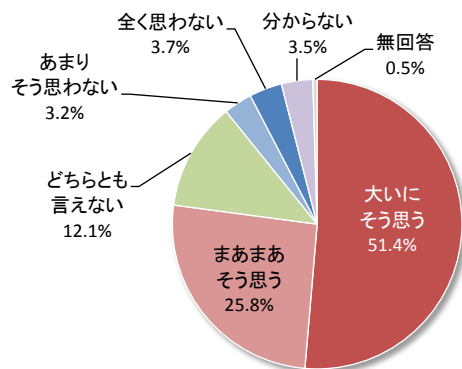
島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいか（おもてなし意向度）について、「大いにそう思う」が 51.4%で最も多く、『そう思う（「大いにそう思う」と「そう思う」の合計）』は 77.2%で約8割と、『そう思わない（「あまりそう思わない」と「全く思わない」の合計）』の 6.9%を大きく上回っている。

これを属性別にみると、性別では、男女とも全体と同様に「大いにそう思う」が最も多く、次いで「そう思う」となっており、性別で大きな違いは見られない。

年代別では、全ての年代で全体と同様に「大いにそう思う」が最も多くなっている。20～30歳代と50歳代は『そう思う』が8割を超え、他年代に比べ多くなっている。

居住地区別では、どの地区とも全体と同様に「大いにそう思う」が最も多く、次いで「そう思う」となっており、地区別で大きな違いは見られない。

〔おもてなし意向度／あなたは島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいですか？ N=629〕



		大いにそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまり好きではない	好きではない	分らない	無回答
性別	男性(N=244)	126 51.6%	71 29.1%	27 11.1%	6 2.5%	6 2.5%	6 2.5%	2 0.8%
	女性(N=314)	160 51.0%	79 25.2%	40 12.7%	9 2.9%	11 3.5%	15 4.8%	- 0.0%
年代	10代(N=28)	15 53.6%	7 25.0%	2 7.1%	- 0.0%	2 7.1%	2 7.1%	- 0.0%
	20代(N=33)	20 60.6%	7 21.2%	3 9.1%	1 3.0%	1 3.0%	1 3.0%	- 0.0%
	30代(N=56)	34 60.7%	12 21.4%	6 10.7%	1 1.8%	- 0.0%	3 5.4%	- 0.0%
	40代(N=88)	47 53.4%	22 25.0%	10 11.4%	5 5.7%	3 3.4%	1 1.1%	- 0.0%
	50代(N=99)	55 55.6%	29 29.3%	9 9.1%	2 2.0%	3 3.0%	1 1.0%	- 0.0%
	60代(N=132)	65 49.2%	34 25.8%	23 17.4%	6 4.5%	2 1.5%	1 0.8%	1 0.8%
	70代(N=117)	50 42.7%	36 30.8%	17 14.5%	3 2.6%	7 6.0%	4 3.4%	- 0.0%
	80歳以上(N=69)	36 52.2%	13 18.8%	4 5.8%	1 1.4%	4 5.8%	9 13.0%	2 2.9%
居住地区	名瀬(N=446)	225 50.4%	126 28.3%	54 12.1%	15 3.4%	14 3.1%	11 2.5%	1 0.2%
	住用(N=72)	38 52.8%	14 19.4%	3 4.2%	3 4.2%	2 2.8%	11 15.3%	1 1.4%
	笠利(N=98)	55 56.1%	20 20.4%	18 18.4%	- 0.0%	4 4.1%	- 0.0%	1 1.0%

(10) 永住希望度／あなたは今後も奄美に住み続けたいですか？

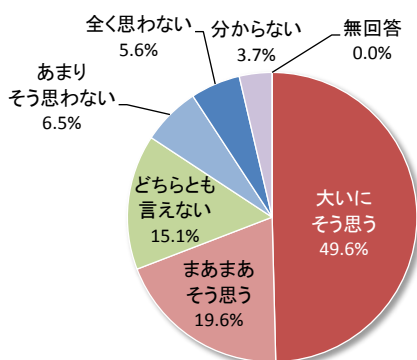
今後も奄美に住み続けたいか（永住希望度）について、「大いにそう思う」が49.6%で最も多く、次いで「そう思う」が19.6%の順となっている。『そう思う（「大いにそう思う」と「そう思う」の合計）』は69.2%で約7割と、『そう思わない（「あまりそう思わない」と「全く思わない」の合計）』の12.1%を大きく上回っている。

これを属性別にみると、性別では、男女とも全体と同様に「大いにそう思う」が最も多く、次いで「そう思う」となっており、性別で大きな違いは見られない。

年代別では、20歳代と40歳以上は全体と同様に「大いにそう思う」、10歳代は「そう思う」、30歳代は「大いにそう思う」と「そう思う」が同率でそれぞれ最も多くなっている。『そう思う』は50歳以上で7割を超える一方、20歳代は39.4%と4割を下回り、他年代に比べ少なくなっている。

居住地区別では、どの地区とも全体と同様に「大いにそう思う」が最も多くなっているが、名瀬は『そう思わない』が13.0%と他地区に比べ多くなっている。

〔永住希望度／あなたは奄美に今後も住み続けたいですか？ N=629〕



		大いにそう思う	そう思う	どちらとも言えない	あまりそう思わない	全く思わない	分からない	無回答
性別	男性(N=244)	128 52.5%	48 19.7%	41 16.8%	16 6.6%	8 3.3%	3 1.2%	- 0.0%
	女性(N=314)	142 45.2%	67 21.3%	46 14.6%	22 7.0%	19 6.1%	18 5.7%	- 0.0%
年代	10代(N=28)	6 21.4%	11 39.3%	6 21.4%	3 10.7%	2 7.1%	- 0.0%	- 0.0%
	20代(N=33)	11 33.3%	2 6.1%	9 27.3%	4 12.1%	4 12.1%	3 9.1%	- 0.0%
	30代(N=56)	16 28.6%	16 28.6%	10 17.9%	9 16.1%	3 5.4%	2 3.6%	- 0.0%
	40代(N=88)	36 40.9%	19 21.6%	14 15.9%	9 10.2%	7 8.0%	3 3.4%	- 0.0%
	50代(N=99)	48 48.5%	22 22.2%	19 19.2%	5 5.1%	4 4.0%	1 1.0%	- 0.0%
	60代(N=132)	76 57.6%	27 20.5%	20 15.2%	6 4.5%	2 1.5%	1 0.8%	- 0.0%
	70代(N=117)	73 62.4%	19 16.2%	10 8.5%	4 3.4%	7 6.0%	4 3.4%	- 0.0%
	80歳以上(N=69)	44 63.8%	5 7.2%	5 7.2%	1 1.4%	5 7.2%	9 13.0%	- 0.0%
居住地区	名瀬(N=446)	209 46.9%	99 22.2%	69 15.5%	33 7.4%	25 5.6%	11 2.5%	- 0.0%
	住用(N=72)	36 50.0%	11 15.3%	8 11.1%	3 4.2%	5 6.9%	9 12.5%	- 0.0%
	笠利(N=98)	60 61.2%	12 12.2%	15 15.3%	5 5.1%	3 3.1%	3 3.1%	- 0.0%

(11) 各項目の比較

(1) ～ (10) の各項目の比較を見ると以下のとおりとなっている。

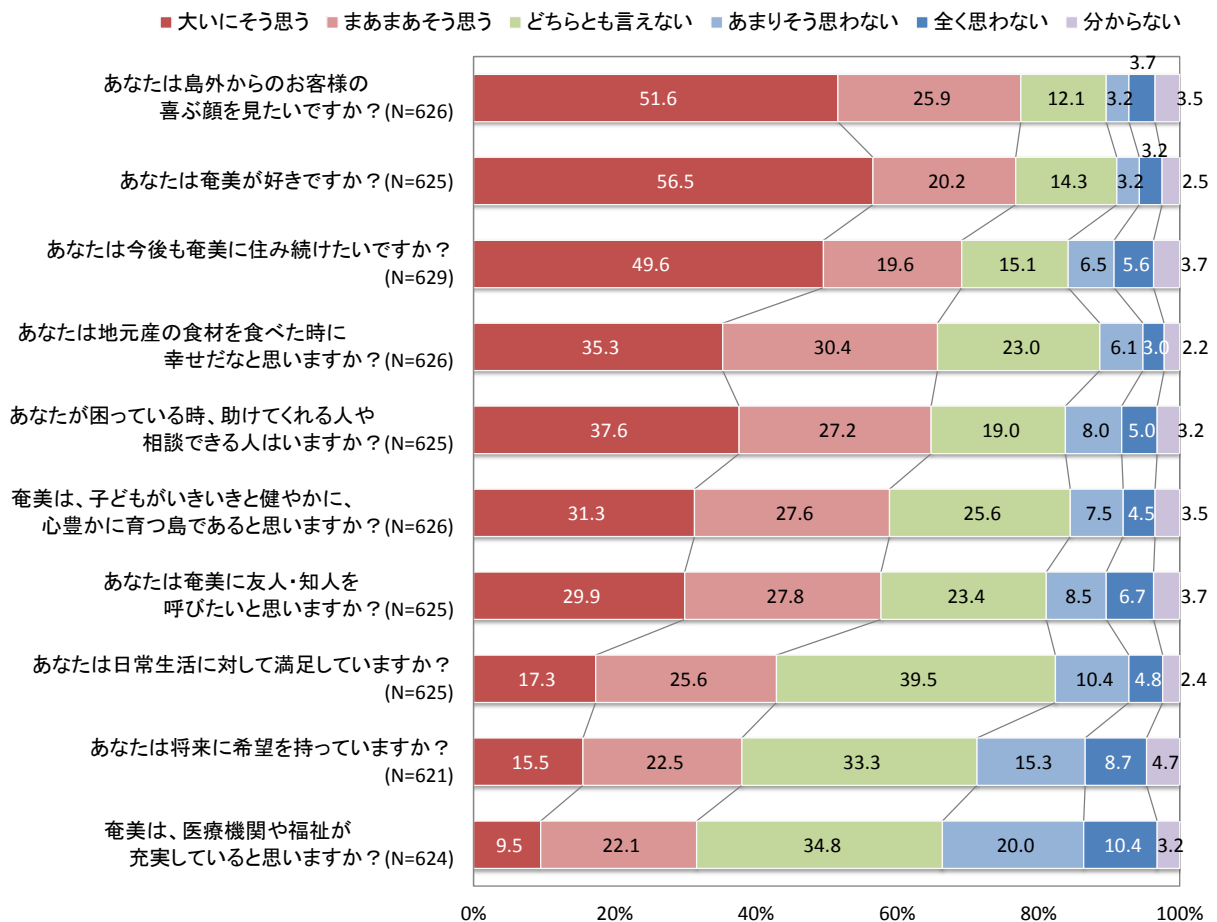
『そう思う』の回答率が高いのは、

- 1 位 「おもてなし意向度／あなたは島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいですか？」 (77.5%)
- 2 位 「愛着度／あなたは奄美が好きですか？」 (76.7%)
- 3 位 「永住希望度／あなたは奄美に今後も住み続けたいですか？」 (69.2%)

一方、『思わない』の回答率が高いのは、

- 1 位 「医療・福祉環境の満足度／奄美は、医療機関や福祉が充実していると思いますか？」 (30.4%)
 - 2 位 「将来への希望度／あなたは将来に希望を持っていますか？」 (24.0%)
 - 3 位 「生活の満足度／あなたは日常生活に対して満足していますか？」 (15.2%)
- となっている。

〔各項目の比較〕



※無回答を除く。

(12) 日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？

日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは、以下のとおりとなっている。

なお、「問2あなたが、日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか」（自由記述）に記載があった全てを原文のまま記載している。

〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？〕

年代	性別	居住地	意見			
10 歳代	男性	名瀬	人々の温かさ。			
			眠ること、食べること、運動すること、出来ないことや分からないことが解決した時。 佐大熊の大きな橋を走っているとき。			
			大好きな趣味ができること。			
			奄美の自然の美しいところと食(郷土料理)			
			何もしないこと。			
			部活動(野球)をしているとき。			
	住用	ゆったりしていて生きていく上でストレスがない。都会とは違って、暑さや寒さが柔らかい。 自然が豊かなところ。				
	笠利	趣味に没頭しているとき。				
	女性	名瀬	趣味に没頭しているとき。			
			海がきれいなこと。 自然が豊かである。			
住用		奄美で生まれたこと。 自然豊かな奄美で生まれ育っていること。人の温かみを感じられること。				
笠利		自然が身近にたくさんあること。 食べているとき。 遊ぶこと。 寮生活をしているため、母親から手作りおかずが届いたりする。 試合などのときには家族が応援に来てくれること。				
20 歳代	男性	名瀬	ごはんがおいしい。 色々な意味で距離が近いこと。 豊かな自然の食材。 家族で海へ行ったりして遊ぶこと。 家族という時間。おいしい食事と十分な睡眠がとれるとき。			
			笠利	毎日海に入れること。 食べ物が美味しい。		
			女性	名瀬	好きなアイドルのライブを見に行くこと。 家族で過ごしているとき。おいしいものを食べているとき。 友人や家族とお酒を飲むとき。 人と人との繋がりが近いこと。 美しい海を見た時。 きれいな海や自然が間近にあること。 家族や古くからの友人と過ごす時間 体を動かしているとき。 何気ない日常。 安定した仕事(給与、賞与)を続け、自分の時間を大切にすること。 家族や友人、恋人と楽しく過ごすこと。 海がきれいで癒される。	
					住用	大好きな海が見られること。大好きな人と一緒にゆっくり過ごせること。 のんびりゆったり過ごせる事。
					笠利	美味しいものを食べること。 人々が温かく、とても良くしてくれること。 転勤で奄美に来ましたが、とても住みやすいと感じています。 海がとてもきれい。人がみんな優しく親切。
	30 歳代	男性			名瀬	自然、40 代以下の人間関係。 衣食住に悩まないこと。 身近に自然があり、楽しめる事。人との繋がりが有ること。島の文化と触れ合えること。 家族が健康でトラブルもないこと。 自然がきれい。 普通に生活ができること。 仕事や生活がうまくいったとき。 子どもと触れ合っているとき。 家族で助け合って生活できること。気候が温暖で生活しやすいこと。 自然のなかで子どもを遊ばせることができる。

〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地	意見
30 歳代	男性	名瀬	海がきれい。家族や親戚、友人が近くにいること。子どもの医療費が無料。習い事代が安い。
			家族の笑顔。
			大自然、海、山、川。時間。
	女性	名瀬	毎日おいしいご飯を食べ、健康に過ごしている事。
			食べること。人を喜ばせたとき。
			自然と人情が豊か。おいしいものがたくさんある。方言文化、島唄文化がある。
	女性	名瀬	自然が豊か。人々の温かさ。
			海や夕日、砂浜、澄み切った青空を見ると、とても自分は幸せで贅沢だと思います。
			子供が都会に出た時に、帰ってこられる場所があるという事がどれほど恵まれていること。
			食材が豊富なこと。野菜もきれいで安い。海と山が近いこと。
			自然が多い地元奄美で子育てできること。
			地域の方とのふれあいができていること。皆さん子供にも優しく接してくれること。
			きれいな海を見ているとき。
			飛行機代や宿泊代などの費用をかけて観光客が来る場所に住んでいること。
			車を少し走らせるときれいな海があって非日常的な景色を見ることができるところ。
			実家や親戚が近くにいるので、子育てがしやすい。海がきれい。祭りが多い。事件が少ない。
			子どもたちとゆっくりとした時間を過ごしているとき。
			自然が豊か。
			自然いっぱいの中かで子育てできることは幸せ。
			人が優しく親切。地域との絆。
			良くも悪くも不足していることがたくさんあるので、ビジネスチャンスが多くあること。
子どもの笑顔、成長を見る時。			
女性	住用	海がきれい。満員電車がいない。	
		自然にかこまれて、自然にふれる機会が多い。地域の方が優しく、子育てがしやすい。	
		家族がいること。みんなが健康であること。	
		離島にいても、都会と同じような買い物ができるところ。	
		自然に囲まれ、子どもたちがのびのびと育っている。	
		やりがいのある仕事がある。(転入で来た印象)	
女性	笠利	ゲーム。	
		自然がきれいなこと。	
		家族とゆっくり過ごしているときや、出かけ先で楽しく過ごせたとき。	
40 歳代	男性	名瀬	天気の良い日に海に入り、美味しい食事をいただけるときは最高の気分になる。
			自然。
			女性が美しいこと。人が優しいこと。
			協力して仕事をやり遂げたとき。
			地元があるということ。地域と密着した生活。
			生活にゆとりがあり、趣味のゴルフができること。
			自然が豊かなところ。
			奄美という知名度。
			皆さん気さくに接してくれるところ。
			「結」の精神があり、飲み交流できること。
			他県から遊びに観光客がいたとき。奄美の事を更に知ることができたとき。
			自然が残っている。人が温かい。時間がゆっくり流れている。
			競争が少ないこと。
			他にはない自然を満喫できること。
			人とのふれあい。
	男性	住用	家族の存在。
			友人が近くにいること。
			奄美は、夏はあまり暑くなく冬は暖かいので、とても住みやすく満足している。
			家族との団らん。
			地元で 30 年ぶりに帰り働いていること。
			食べ物の美味しさ。
男性	笠利	好物を食べているとき。	
		好きな人と同じ空間にいられること。また同じ時間を過ごせること。	
		大自然の中かで生活できること。(国定公園)	
女性	名瀬	家族と共に生活し、近くに親戚もいること。	
		平和。	
		海で遊ぶこと。	
女性	名瀬	自然がたくさんあるところ。	
		家族の笑顔。母の笑顔。	
		知り合いが多いこと。自分の親や兄弟の友達でも気さくに話しかけてくれるし、困っていたら無償で手伝ってくれる。自分も恩返しをしたいと思っている。	

〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地	意見
40 歳代	女性	名瀬	家族みんなが健康で、やりがいを持って過ごしていること。
			自然と触れ合いながら過ごせること。人情が深く残っている島ということ。
			自然や人の温かさを身近に感じられること。
			子供達といるとき。海や森、自然の景色を見たとき。
			目の前に海があること。洗濯物が外に干せること。子育てしやすい環境であること。
			自然が豊かであること。
			自然の豊かさを身近に感じること。子育てする環境の良さ。
			家族そろって健康に毎日過ごせること。
			天気の良い日は、海がきれいで幸せを感じる。
			安心して住める場所。
			子供の成長を感じたとき。子供が笑っているとき。美味しいものを食べているとき。
			伴侶や子供達に恵まれたこと。
			物事が計画通りまたはそれ以上に進むこと。ゆとりがあること。
			家族と共に生活できること。
			家族で過ごす時間。
			海が近くにある。
			落ちつくことの出来る土地。
			奄美の自然、気候、人の優しさ。
			健康でいること。家族と一緒にいられること。
			人が温かく、自然が豊かであること。
		子育て。	
		子どもと一緒に過ごす時間。	
		自然に癒される。	
		家族が健康で過ごしているとき。子どもの成長を見届けられているとき。	
		人のつながり。	
		自然(海、山)の場所に人がいなく、あることが当たり前の事。	
		家族や友人と楽しく過ごせること。	
		家庭円満。思いやりのある人たちに囲まれているとき。	
		緑が多い。ゆっくりしているところ。	
		転勤であちこち回りましたが、人が本当に優しい。嫌な思いをしたことがない。	
		住用	自然に囲まれて生活できる。
		笠利	のんびりゆったりしていて、人の情が感じられる。
			身近に豊かな自然を感じることができる。子供達が生き生きと健康でいられること。
自然に囲まれていること。親も子も楽しめる行事がたくさんあること。			
奄美のゆったりとした時間に、そして色鮮やかな自然に触れて、家族と共にいられることに幸せを感じる。			
佐仁という静かな環境で、山と海を見ながら生活できること。奄美の風を浴びること。			
大自然のなかで、ゆっくりマイペースで過ごすことが出来ていること。			
人が多すぎない。			
犬と過ごしているとき。			
-	名瀬	家の前にアカショウビンがやってくる。とれたての野菜やトロピカルフルーツなど地元の新鮮で美味しいものが食べられること。	
50 歳代	男性	名瀬	便利がいい。
			家族といるとき。
			何不自由なく暮らせること。平和な島。今生きていられること。
			うまい酒を飲むとき。海山自然がいいところ。
			ゆっくり過ごせること。
			普通に生活ができること。
			自然があること。
			海の透明度が高いこと。
			家族がみんな健康であること。
			生活環境。
			自分を含め身内が健康であること。老齢の親と一緒に食事やグラウンドゴルフに行けること。
			時間にゆとりがある。
			自然、環境。
			自然が豊か。人情味があり、住みやすい。
			食、人情。
			子どもの成長、友人との飲み会、日々のスポーツ。
			島ならではの自然、景色、風習などに触れた時。
			3食きちんと食べられること。朝起きられること。なんとか働いていること。海をぼんやり眺めているとき。
海をながめている時。			

〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地	意見
50 歳代	男性	名瀬	趣味を楽しんでいるとき。
			自然が豊かであること。
			色んな面で奄美は楽しい。
			自然豊かな環境で、心が洗われるような気がする。
			家族が元気なこと。
		奄美の自然に触れたとき。情け深いところ。	
		住用	残業が無い。
			困っているときに、声をかけてくれたり協力してくれたり助けてくれる人がいること。
		笠利	お金がなくても生活出来ること。
			美しい海を見ながら生活できること。
			仕事が順調。家族が元気。
			素朴な毎日。
	食べるものがあるということ。		
	島の美しい自然の景色を見た瞬間。人と人のつながり。親子のつながり。		
	海を見て美しいと思うとき。八月踊り。		
	ライフスタイルと周囲の方々との交流。		
	女性	名瀬	都会の空気を吸ったとき。
			住みやすさ。
			徒歩で生活できること。車が無くてもある程度の生活はできること。
			家族で過ごしているとき。
			近所の人からの野菜のおすそ分け。
			空気がおいしい。
			この年で正社員として転職できたこと。
			近所に木や花が多く、鳥のさえずりが聞こえる。歩いて海にも行けるし、波の音は癒される。
			子供の声も聞こえ、パワーをもらえる。
			すぐ近くに美しい自然があること。
			家族(夫、愛犬)と一緒に過ごす時間。趣味のコーラス仲間との時間。気の合う友人との会話。
			家族で幸せに生活ができること。
			健康で仕事を続けられること。社会参加している意識、感謝されることの大切さ。
			家族、友人、職場の人間関係で日々感謝しかない、幸せを感じる。
			家族全員が揃った時(仕事などで島外に行っている息子たちはなかなか帰ってこられない)
		健康で仕事ができること。	
優しい人柄。			
子どもや家族が楽しく頑張っている姿を見るとき。			
家族が健康であること。子どもたちも社会人になり安心できること。			
子どもの成長を見たり、たくさん食べているところを見る時。			
親、兄弟が奄美にいること。			
少々の不便さとのどかな氣質。何よりも方言で話せることがうれしい。(昔は先生に怒られた)			
移動距離が短いこと。気候が安定している。災害が少ない。			
ゆったりとした時間が流れていること。美味しい食材が揃うこと。			
健康で過ごせていること。			
家族が健康であること。			
住用	健康で働けること。孫 4 人の成長。		
	自然と文化が受け継がれていること。		
	海、空、星空の美しさ。人々の優しさ。大らかさ。		
笠利	自然が美しいこと。		
-	人とのつながりがあること		
-	家族が健康で一緒に食事がとれること。		
-	名瀬	毎日の買い物と自分の趣味。	
		自然を感じられること。子供達を安心して育てられること。	
		四季ごとの海や川など自然の恵みを得ることができること。	
		自分が生まれた島で家族と生活できること。	
	自分のペースで生きていける。		
住用	仕事があること。		
笠利	美味しい食べ物を美味しいと感じること。充実した毎日を過ごせること。		
-	都会では人と人が助け合うことがないが、奄美ではあること。		
60 歳代	男性	名瀬	毎日三度の食事ができ、好きなことができること。
			少ない年金でも生きていることは幸せである。
			普通に暮らせること。
			奄美の自然を肌で感じたとき。
			未開発の自然。
			気候が良い。自然がある。原子力発電が無い。周囲の住人の人柄。

〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地	意見
60歳代	男性	名瀬	福祉関係に従事しているが、生きがいの一つと感じる事がある。
			家庭菜園で土いじりが出来ること。
			自然が豊かなこと。
			日常生活が安心安全であること。
			自然がすぐ近くにあること。
			毎日安堵感がある。自然が近くにあり、きれいである。
			家族、友人、職場のふれあい。
			毎日健康で働くことができる。
			食事が美味しいところ。
			子や孫にたまに会うこと。
			元気なこと。
			人とのふれあい。医療機関の充実や買い物のしやすさ。タクシーが利用しやすい。
		豊かな自然に触れ合える。	
		食事。山の移り変わり。	
		奄美の自然や人情が温かく感じる。	
		健康で不自由もしていないこと。	
		ゆったりした生活が送れていること。	
		一日一日を計画通り元気で過ごすことができること。	
	自分の家の近くに山があり、海がある。こんな幸せなことはないです。		
	家族が健康で過ごせること。平和であること。このまま奄美の自然を残して行ってほしい。		
	自然が豊かなこと。海。		
	生まれ育った奄美で暮らせること。奄美が一步步発展していると感じられること。		
	自然が多い。		
	海の音が聞こえる。泳いでアメリカに行ける。		
	人とのコミュニケーション。自然が美しい。		
	海に出ること。		
	女性	名瀬	海がきれい。夕日が素敵。空気が澄んでいる。人が温かい。
			夜でもある程度、女性一人でも歩ける事。
			本土に比べると、まだ自然が豊かなこと。素晴らしい伝統芸能が残っていること。
			毎日お仕事に行き、微力ながら社会貢献出来ていると感じること。
			仕事があって、普通に生活できること。
			孫といるとき。
			健康であること。好きな物がすぐ手に入ること。
			病気もなく、現在生活できていること。
			自然の豊かさ。
			人とのふれあい。(祭りの特別なことではなく、日々の生活のなかで)
			自衛隊の配置。
			自然に恵まれ健康であること。
		健康で、まだまだ仕事ができること。	
		どの用事も近所で済ます事ができる。	
		タラソ奄美に行けること。	
		何事もなく無事に1日を終わるとき。	
家族がいること。親しい知人がいること。毎日タラソに通えること。			
元気に働くことができること。			
豊かな自然に囲まれていること。			
健康で仕事出来ること。			
食(料理)の豊かさと工夫。おいしいものばかりある。			
夫婦で定年後のんびりとすごしていること。農業をしたり、潮干狩りなど自然を楽しんでいること。			
島唄や歌謡曲などのイベントが多く、身近に鑑賞できること。タラソなどに楽に行けること。			
健康でいられること。			
親や親戚が近くにいること。			
退職し、ゆとりしていること。子どもや孫達が近くにいること。			
奄美らしい空や海を見ているとき。			
奄美の自然が誇り。			
毎日が楽しい。			
島には美味しいものがたくさんある。子どもや孫がそばにいること。			
子どもや孫達にも恵まれ、みんなが健康で生活できていること。			
奄美には美しい自然があり、心が癒される。			
健康であること。地域が住みやすいこと。			
普通であること。			
思った時に、海に行くことができること。			

〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地	意見
60 歳代	女性	名瀬	仕事。
			自然に囲まれた環境の良さ。
		住用	結いの精神が残っていること。人が優しい。自然がいっぱいでのおんびりしている。
			趣味を活かし、色々と活動していること。 先人たちが守ってくれた島で、自然の豊かさと人々の温かさに幸せを感じる。
		笠利	健康であること。義母がとてもやさしいので幸せ。
			日々健康で、自分のことや周囲の高齢者の見守りもできるので幸せです。
			自然が身近。空気がきれい。
			周りの人との関係が親密であること。高齢者に対しても親切であること。
			70 歳近くになっても働ける場所があるということ。必要とされている所に幸せと満足感を感じている。
			外出時にカギをかけなくてもいいところ。 まだまだ働くことができ健康であること。
	名瀬	自然豊かであるところ。時間がゆっくり流れており、ゆったりと過ごすことができること。 海、山、島 年金生活で孫達にお小遣いはあげられないけれど、顔を見せに来てくれるときは幸せを感じる。 今現在、自分のことは自分で出来ること。家族が健康で、金銭的にも心配なく生活できていること。	
		島に生まれたことを幸せとは言いきれないが、満足はしている。	
		奄美祭り、八月踊りで奄美の文化継承や、先人たちの偲びつつ汗を流せること。	
		毎日、花や木を眺め、隣人と花ミーティングをしているとき。お金の心配がないこと。	
		隣人からいただいた野菜をおいしく料理するとき。	
		毎日食事ができること。仕事があること。	
		健康であること。	
		自然が美しいので、都会から帰ってくるとほっとする。	
		仕事があること。	
		自然がとてもいい。緑が多く、海がキレイ。鳥のさえずりが近くで聞こえる。	
住用	自然がいい。人が好き。		
	自然がきれい。		
笠利	健康で生活ができること。		
	健康で、あまり不安を感じることもなく生きていけること。		
70 歳代	男性	名瀬	近くに友人、知人が多くいること。
			自然に恵まれ、新鮮な食材にありつけ、公害もなく空気もよく、毎日が楽しく健康的に暮らせる島。 長寿の島。
			子や孫が島に来るとき。友人知人とのコミュニケーション。
			家族に事故が起きることがなく、病気もなく、一日を終えるとき。
			伝統行事、特に八月踊りが実施され、参加できたとき。
			海や夕陽を見て大自然を感じる時。食の豊かさを味わうとき。
			なんとか元気でいられること。
			家族が健康で、楽しく生活していること。
			体力が続く限り、仕事ができること。
			自然が豊かであること。医療が充実していること。
	元気で仕事ができること。		
	国の制度には感謝している。		
	子どもや孫たちと会話や食事をしたとき。		
	多くの友人と日々お酒を飲み、ゴルフが出来ること。		
	身近に豊かな自然、山、川、海(沖、磯、浜辺)があり、楽しみながら生活できること。		
	親戚付き合いが盛んなこと。		
	今のままでいい。		
	災害が少ない。生活の格差が少なく、普通に暮らせること。		
	家族や知人とのふれあい。		
	平和であること。		
自然豊かな土地で魚釣りや川でのタナガ釣りを楽しめること。			
人間関係。			
変わらない日常。			
武道、隊友会長(自衛隊 OB)			
住用	普通に生活できること。		
	島に子どもがいること。		
	自然環境いっぱいの中に住んでいることだけで幸せと満足感を感じている。		
	健康で規則正しい生活、楽しい家庭、友人に恵まれていること。		
笠利	普通に生活できること。		
	保育所へ孫を迎えに行くこと。		
女性	名瀬	自然に恵まれ、小さな畑で土いじりするとき。	
		奄美の自然遺産が登録され、奄美が活気づくことを願っている。そうなることが幸せだと感じる。 子どもや孫達が近くに住んでいること。健康でいる事。	

〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地	意見
70 歳代	女性	名瀬	衣食住。
			近くに子供たちがいること。
			事件、事故、災害等もなく、ゆったりのおんびり時が過ぎていくこと。
			名瀬に幼い頃から住んでいるので、友人、知人が多いこと。山海空、都会では味わえる事の出来ない自然がたくさんあること。健康の為に歩いていますが、道路が整備されていること。
			夫婦共に元気でいられること。友人達との交流。
			人とのふれあい。
			思いやりの心。子供達が見守ってくれていること。
			声をかけてくれる人がいること。借金もせず生活できていること。
			私たちが育った時代は苦労もしたが、そういう経験をしたことで今幸せを感じている。
			隣近所、友人、身内、皆さん思いやりがあること。
			子供達が幸せであること。
			安心して穏やかに過ごせること。
			周りの人達がとても親切なことや、子や孫が近くにいること。海や山などの自然に触れられること。
			奄美の文化に触れられること。
			以前は調子が悪かったが、今は足が痛いだけで健康になったこと。
			奄美、特に名瀬は小さな都会だと思う。
			この年になっても病気1つしないこと。いつもウォーキングしていること。
			島独特の近所付き合いがある。
			友人知人と交流があり、月に数回出かけたり、家に訪ねてきたりと楽しく過ごしていること。
			近くにコンビニやスーパー、金融機関、病院があること。
	友人、知人に囲まれて生活が出来ること。		
	大きな事件などが少ないこと		
	地域の方々が思いやりの心で接している姿を見ると、幸せだと感じる。		
	健康で働けること。孫4人の成長。		
	日々健康でいられること。		
	人間関係、近所付き合い、助け合いの精神が強いこと。		
	海、山などの自然に恵まれ、医療機関も充実して幸せ。		
	子や孫にいいことがあったとき。		
	家族や地域の人との触れ合い。		
	住用	自然がいっぱいで、とてもうれしく素晴らしく思う。 みなさんにもぜひご覧になっていただきたい。	
	笠利	みんなで集まって、島料理を食べる事。お正月、お盆はとても賑やかで幸せを感じる。	
		体の故障はあるが、身の回りの生活は自分で出来ていること。	
		海が美しい。	
		子どもみんなが幸せであること。 生涯学習の体制が整っており、自分を高めたいという意欲が持てるのでうれしい。	
	-	名瀬	友人がいること。
			孫の成長。
			自分が通いたい病院が揃っていること。
			ゆったりとした時間が流れていること。
			高齢者の集いを市役所が企画してくれること。体操やおしゃべりなどする場があり、楽しく昼食会をしている。
			奄美は本当に素晴らしいところです。自転車、バイク、車を使って自由に動ける。
交通にあまりお金がかからないこと。			
友人や知人との会話。			
家族4世代で楽しく暮らせること。			
健康で家族と一緒に生活出来ること。			
笠利	孫と過ごすときが1番幸せを感じる。		
	孫が来ること。		
	健康でいること。		
-	色々な面で便利なこと。		
	楽しみがあれば幸せだと感じる。		
80 歳以上	男性	名瀬	自然が豊かなこと。何でも満足にできたこと。
			奄美大島の全ての風景。島人の笑顔と人情。
			自分の思うように体が動かせる時。
			夫婦共に元気で、生かされて生きていることに感謝している。希望を持って生きていること。
			お金持ちは羨ましいが、それはない物ねだり。無欲が最高の幸せだと思う。
			奄美市の福祉、特に高齢者福祉に感謝している。
			健康である。経済的にゆとりがある。子どもや孫の成長を楽しみにしていること。
			友人、知人が多い。
家族が健康であること。			

〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地	意見				
80歳以上	男性	住用	若い時は苦労も多かったが、今は年も重ね日々の生活も何とか出来ているので幸せ。				
		笠利	奄美は住みやすい街だと思う。 毎日畑に行けること。				
		-	自然が豊か、海がとてもきれい、人情味が豊か。				
	女性	名瀬		友人知人が近くにいること。 食べたい時に食べ、休みたい時に休み、趣味の花いじりをしているとき。 のんびり暮らせること。 自分の足で歩けたとき。 生活の範囲にあるもの(病院、交通、役所対応)全て有難く感じている。 施設の方々に手厚い看護を受け、毎日幸せと感謝で大満足です。 何か困ったときに、子どもや福祉の存在に助けられている。 現在健康で幸せを感じている。 同じ趣味を持つ仲間がいて話し合い、励まし合えるところ。若い人たちとも親しくしてもらい、心豊かに生きていること。 孫、ひ孫と一緒に暮らしていること。			
				静かに暮らせる。温暖な気候。知り合いがたくさんいる。 毎月、合唱や集会場での健康体操(ストレッチ)、ゲーム、踊りなどで楽しい時間を過ごしていること。 起床してから調子が良く、元気に動いて過ごせるとき。子どもが帰省しているとき。 奄美が好きで、生活出来ていること。			
			住用	娘と名瀬に出かけたり、旅行に行ったり、一緒に食事をしているとき。孫達と過ごす時間。 健康で動けること。			
			笠利		美味しく食べることができる。 友達と話ができること。 みんなで楽しくグラウンドゴルフをしたり、老人クラブの仲間とお茶を飲んだりおしゃべりができること。 食べて寝ること。隣人とおしゃべり。 小学校の友達とデイケアで遊んでいること。		
				名瀬		どこまでも歩いていけること。都会と違い空気がきれいなところ。 孫、ひ孫と一緒に過ごす時間。 海を眺める時。 元気に働けること。 自然がいい。	
					住用	親を見てくれる子供がいること。自分のことは自分でできること。家族と一緒に食事ができること。 病院にかかっているが、幸せ。 家族がいること。	
					-		身近に自然と親しめる。 花を見るとき。 生活範囲が狭いので、何をすることも便利。

(13) 日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？

日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは、以下のとおりとなっている。

なお、「問2あなたが、日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか」（自由記述）に記載があった全てを原文のまま記載している。

〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？〕

年代	性別	居住地区	意見	
10 歳代	男性	名瀬	スポーツショップ(大型店)がないこと。ショッピングモールがないこと。	
			奄美は自然がきれいと言いながらも、ゴミのポイ捨てをする人がいること。	
			洋服などが高く感じること。	
			仕事を押し付けられたとき。	
			働くところ(働きがいがあるところ)がない。給与が少なすぎる。	
	住用	女性	交通の便が悪い。	
			ゆったりしているゆえに、定刻通りにいかないことがしばしばある。	
			自然は豊かだけれど、危険な生物も身近にいる。	
	公共交通機関が少ない。バスの本数が少ない。船が止まると生活できなくなる。	笠利	一人になったとき。	
	住用	レジャー施設や娯楽施設がないところ。	笠利	子供の遊べる施設が少ない。
		家から高校までが遠い。バス代が高い。	笠利	遊びに行く場所が少ないこと。
		人間関係で悩んだりすることがある。		人間関係で悩んだりすることがある。
20 歳代	男性	名瀬	レジャー施設の少なさ。	
			特に雨天時のレジャー施設の少なさ。	
			交通インフラ(道路が狭い、バスが不便)	
			雨天時に家族で遊べる施設が少ないこと。	
			忙しいとき。物価や物流が十分でないこと。	
	女性	名瀬	税金が高い。収入に対して割に合わない。国保が特に高い。	
			買い物できる場所が足りない。もう少しリゾート化してほしい。	
			飛行機の便が少ないこと。	
			運転しているときに、交通マナーが出来ていない人が多すぎると感じる。	
			物流が悪い。バスが小さい。観光するところはたくさんあるが、遊べる場所はない。	
			公共交通機関が少ないこと。	
			医療機関が少ない事(婦人科、耳鼻科)	
			保育料が高いこと。	
			観光客やIターンの人達が増える事はいいことだとは思いますが、観光地化だけ先走っているような印象をうける。地元の人の生活や自然保護についても同時に考えていく必要があると思う。	
			薬を飲んでいるので、体が疲れやすいこと。	
行きたい専門学校が奄美にはない。				
給与が少ないこと。若い世代が少ないこと。閉鎖的なところ。島だから特に息苦しく感じる時がある。				
仕事忙しいとき。期待、信頼していた人やものに裏切られること。				
人によるが、だらしない恰好の人が多。人相は大事だと改めて思う。				
住用	近い将来、子供を産みたいと考えているが、保育所に入園する年齢が決められている地域に住んでいるので、少し不満。			
笠利	アーケードを歩いていると、人の少なさにさみしくなります			
	奄美群島間のアクセスが今よりもよくなれば嬉しい。航空券の値段が少し高く感じる。			
	給料(介護職)が安い。観光客(特に若者)のごみのポイ捨て。			
-	名瀬	賞金が低い。厚生年金やボーナスがない。		
30 歳代	男性	名瀬	男性が威張りすぎ。新しいもの(Iターン移住者含む)に冷たい。喫煙ルールがめっちゃくちゃ。自転車、自動車のルール違反が多い。病気になっても老人病院しかない。若い納税者が意見を言う場がない。	
			多すぎて書ききれない。	
			台風などの影響が長引くと、生鮮食品などが滞ること。	
			人が少ないこと。	
			家の外では、常に人に見られている感じがする。	
			全国最低時給であること。人口が減少していること。	
			低賃金により生活水準が低く生活するののままならない。	
			収入の低さ、物価が高いこと。	
			島民(市民)の民度が低いこと。本土、外国から見ても、住民のレベルの高い島であるべきだと思う。	
			学力や金銭面だけでなく、生活の質のレベルのこと。	
雨の日に子どもを連れて行ける場所がない。				
遊ぶ場所がない。運動施設が老朽化している。朝夕の交通渋滞。小中高生の学力が低い。				
ガンリンが高い。セミナーが少ない。綺麗な公園が少ない。				

〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？(続き)〕

年代	性別	居住地区	意見
30 歳代	男性	名瀬	映画館が少ないこと。
			アミューズメントの少なさ。
		笠利	家族が病気になったとき。
	大学もなく、職業企業も少ない。輸送運賃を下げしてほしい。若者が流出している。		
	女性	名瀬	内地と比べて、色々な情報が入りにくい。勉強するには向かない環境。
			行政のやる気のなさ。プライバシーがない。子供を放任しすぎ(親の責任感の欠如)。
			従業員を大切にしない経営者たち。男尊女卑。生活保護受給者が多く、また不正受給者も目立つ。
			田舎なだけに視野が狭い年配者が多い。やはり、都会生活が長い人の方が、モラルや常識があると実感する事がある。
			サービスの質ももったいないと思うことも多い。今後、観光客がますます増える一方での課題かもしれない。
			年金者の税金負担。労働環境の悪さ。賃金の安さ。
			子供を遊ばせる場所が年々増えてはきていますが、室内で遊べる場所がないので冬の時期や雨の時期などに困っています。
			ひとり親家庭の医療費助成の仕組みについて。
			お店が少なく、遊ぶ場所もないこと。
			個人経営の店員さんの接客態度が威圧的。車がすぐそこまで来ているのに、堂々と道を横切る人がいる。
			物がない。施設がない。パート勤務の職場(4,5 時間の勤務)が少ない。
			子どもの遊べる所やイベントが少ない。航空費が高い。
			子どもを連れて遊べるところが少ない。
		子どもの遊ぶ場所が少ない。公園はボール禁止だから路上でボール遊びをする子どもが多い。	
		航空運賃が高い。鹿児島や東京行きはだいぶ安くなったが、福岡や沖縄行きはとてつもなく高い。沖縄はせめて鹿児島並みにしてほしい。	
		公共交通機関が不便。バスの時間帯に不満。	
		奄美は生活保護や母子手当を不正受給している人が多く、働いて税金を払っても共働きで生活をしている人の方が貧しいと思うのはおかしいと思う。ムダな税金が使われていると思う。	
		子どもの遠征で内地へ行くことが多く、離島のハンデをひしひしと感じる。交通費が高い。	
		近隣関係が密接すぎてしまう時がある。	
		自分の時間が足りない。	
	所得が低い。その割に、下水道の整備が不十分ということもあり、浄化槽の維持費が高すぎる。教育が充実していない。		
	雨の時に遊べる施設がない。屋内遊具を作してほしい。		
	住用	子供を育てていく環境が充実していないこと。職場で子供がいる親への理解がないこと。	
小さな子供がいるというだけで採用されない。			
離島価格として物価が高いこと。			
店も徒歩で行けるところがなく、住宅も人が住める状態ではない家ばかり、草は伸び放題で散らかっているように見える。			
インフラ設備もなく、下水道もない。奄美の人は、表ではいい顔をしているが裏では何を言っているか分からない人ばかり。			
人の悪口を言うのが好き。人の家に興味がありすぎる。私は鹿児島から1ターンで来ているが、今まで住んできた環境と違いすぎて、昭和初期の時代だと感じる。			
行政サービスの差(他者に委ねている人やおまかせの人が多く、また、仕事をしない人がいる。サポートを受けられるのならそのままでもいいという人)。医療不足。			
作事中。			
笠利	働かない人間が多いこと。役場職員の対応の悪さ。		
	経済的に余裕がないとき。自宅が古く、子育てに不向きな点があること。		
	耳鼻科、小児科の専門医が少ない。		
		子どもたちが病気になったとき近くに小児科がないので、体調の悪い子を連れ長時間移動しないとイケない。	
40 歳代	男性	名瀬	行政の力不足
			台風などで、荷物や物資が止まること。
			島の事を思っているという気持ちを持ちつつ、自分の事しか考えていない人の顔をみた時。このアンケートを考えた方々にも、全員が島を良くしたいと思っているのかをよく考えていただきたい。
			税金が高い。
			趣味のゴルフができないとき。
			仕事をするとところが少なすぎる。低賃金すぎる。
			交通の便が悪い(特に台風時)
			46 歳でアルバイトだが、時給が低い。
			島の台風情報が少ない。スーパーの品がなくなる。
			洋服店が少ない。スポーツに関するものが少ない。
			地元の人が島の良さを分かっていない。(私は大阪から来た者です)

〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？〕

年代	性別	居住地区	意見
40 歳代	男性	名瀬	台風などの自然災害時に生活物資が届かなくなる。
			運転などの独自ルールがあって、それがまかり通っていること。
			人口減少による生活環境の維持が難しい。
			子どもの教育環境について。学校の対応や先生方の暴言や体罰。
			仕事が少ないこと。
			出費が多く、貯蓄が出来ない。
			奄美の政治。
			最近レンタカーが多く、運転に不安を感じる時がある。物流で多少の不便さを感じる。
			発展していない割には家賃が高い。物価が高い。
			どこに行っても知っている人に会うこと。
			福祉などのサービス、交通マナー、渋滞。
			少子化、核家族で疎遠になって、家訓も祖先崇拜も薄れつつある。長男後継ぎなどの家制度も崩れがちで、 子がいないと墓制度も不安になる。自治体で集合墓地等、地域で一つの墓を管理していただけたら心配もしないで老いを楽しめる。
	住用	この世知辛い世の中で、時間に追われる自分。	
		道路脇に缶などのゴミが投げ捨てられていたとき。	
		離島という地理的な不便さを天候悪化の際に特に感じる。市街地以外では、子どものことについて充実していないことが多い。学童保育や学校の部活動(スポーツ少年団等)人数が少ないこともあるが、統合など教育機関、行政機関が前向きではない。地域がどうのこうのと言うが、子どものことを考えれば、考え方も少しは変わらと思うが…動くことはまずない。都会との格差以上に島内市街地との格差がひどい。	
	笠利	貧困。	
		仕事が少ないこと。	
	女性	名瀬	精神的な病気を患っている兄弟の将来を思う時。
			本当に困っている人もいるとは思いますが、生活保護の人が多。パチンコをしたり、美容にお金をかけたり、本当に困っているのか疑問に思う人が多い。
			遊ぶ場が少ない。映画、コンサート、落語など。
			賃金(収入)に対して物価が高い。医療、福祉、教育の格差。
			働いても生活が楽にならないこと。子供達の遊ぶ場や学びの場が少ないところ。物価が高いこと。
			スポーツには力を入れている傾向があるが(いいことだとは思いますが)、文化的な意識が低く、世の中に出た時に、苦勞する子供達が多くいるのではと心配になる。
			税金が高い。離島料金などかかるのに、賃金は安い。
			子供たちが遊べるプールがあるといい。海は事故もあり、怖い。
			船代や航空運賃が高い。(陸続きだとあちこち行けるが、離島なので行く場所も限られている)
			陸が続いていないのは不便だと、色々な面で度々思う。
			物価が高い。子供が遊べる施設が少ない。
			仕事(職場)での格差。夫との子育てのやりとり。時間に余裕のないこと。
		税金が高い。	
		病気、けが、事故、理不尽な目に合うこと。	
		教育行政。全てを学校のせいにする。教員は疲弊しきっています。ゴミ処理。	
		美しい自然を守っていかうとしているのか、非常に疑問に思う。	
		子どもを育てるのにお金がかかること。	
		医療機関が不十分(特に耳鼻科、小児科)。自衛隊の存在が不安。	
		数少ない病院が予約制になっているので、本当に必要なときに受診できない。	
島の方の距離感の取り方。価値観の違い。子ども達の学力の低さ。			
時代に取り残されている感じがする。			
教育に関しての意識が低いこと。			
収入。			
だんだんと安心して生活できなくなっていること。事件も多くなり、以前出来ていたことが安全面から出来なくなっている。			
場所によってはバスの本数が少ない。			
病院へ行ったときに、高齢の方にヘルパーらしき人が付き添っている姿を見ると、考えることが多い。			
収入が少なく、税金や物価が高いこと。			
仕事の大変さ。家族のひきこもり(大人)			
人のうわさ話が多すぎる。			
住用		お店や専門クリニックが少ない。相性が合わなくても、そこに行くしかない。	
		子育て、学習、部活、職業選択などまだ充分でない。	
笠利		本土への交通費が高い。少子化のために毎年学校、クラブ活動、地域役員をしなければならぬ。	
		病院の選択肢が少ないこと。	
		これから先、介護や介助を必要としている子供が成長し、生活していくには環境が難しいこと。 島外で生活する方が、子供の仕事も福祉サービスも充実していると思う。今後の生活の不安を感じる。	

〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？〕

年代	性別	居住地区	意見
40 歳代	女性	笠利	病院や設備の少なさに心配になる。台風時の復旧時間が短縮されればいい。 集落行事が多い。
		名瀬	奄美の人達は勘違いしているの、嫌い。 自分に出来る仕事が見つからないこと。 子どもたちが島に帰ってこられないこと。仕事が少ないこと。 毎朝 8 時に道路工事車両の爆音がすること。 防災無線で流れる各種案内の日本語が所々おかしいこと。 「れんと」の看板のスポットライトで夜空が明るくなり、星や天の川が見られなくなってしまったこと。 仕事がないこと。
	男性	名瀬	山裾の整備。裏山の木が民家に生い茂っており、個人負担をするにも重すぎる。 生活保護制度。仕事をしない公務員。 人間関係。物価が高い。ブラック企業が多い。賃金が低いこと。 交通の便が悪い。島外との行き来が難しい。 医療機関の選択肢が少ないこと。 日曜日以外休みがない事。正月休み、盆休みも少ない。 引っ越しをするときが大変。 お金の余裕がないこと。 賃金(収入)が低い。 道のゴミ、犬の糞の多さ(市民のモラル低下)、家賃が高い。 病院が少ない。 医療の充実。 勤務できる会社が少ない。専門病院が少ない。物価が高い。 台風が多く、物資が来なかつたりすると不便さを感じる。 大したことではないことを大きくしてしまうこと。車の運転マナーが悪いこと。 子どもたちが、進学や就職で島を離れるとき、また将来を考えると視野が広がるような経験、体験(都会での)をさせる機会や援助する仕組みがあれば、島での子育てもしやすくなるのではと思う。 病気になるってしまったこと。遊ぶ所があまりない。鹿児島島のラウンドワンのような所があればいいと思う。市民の声をもう少し聞いてもいいのではないかと。行政は電話対応が最悪。外からの観光客を呼びこむのも大事だとは思いますが、住んでいる人の生活満足度をもっと上げるべきだと思う。 病院(県病院)の待ち時間が長い。 病気になる、老後が不安。 交通の便が悪いこと。 台風。 仕事が忙しすぎて、ゆったりとした気分になれない。
50 歳代	男性	住用	賃金が安い。 災害発生時は、生活に不便さを感じる(台風、大雨)
		笠利	離島での不便さ(物流、店の少ないところ) 体調、家族の調子。 犯罪や事故が減らないこと。 税金が高い。 認知症の家族と生活を共にすること。吐き出された言葉に対し、自分が返すとき。 ごみの多さ。 住居探しが容易ではないこと。
	女性	名瀬	井の中の蛙。向上心のない島の人々を見るだけで不幸に思う。早くこの島から脱出したいが、できない事情があるため困っている。そうでなければとくに住んでいない。 税金の無駄遣い。アイデアは悪くないが、継続がなければ意味がない。島外へ出る時にお金がかかる。 親子で遊ぶ場所がない。病院が少ない。(特に耳鼻科や婦人科) 所得が低すぎて、生活が困窮していること。奄美の海や山があまりきれいでないこと。 飛行機がすぐ欠航になること。 耳鼻科の病院が少なく、子供が小さいときに困った。 専門医不足。特に耳鼻科、皮膚科、アレルギー科。 駐車場のマナーの悪さ。地域の放送が何を言っているのか分からない。 (女性は防災の話だろうとは思いますが)歩行者の道路の横断の仕方が悪い。 島外に出るきっかけがつかめないこと。生活が大変なこと。 老後の生活が経済的に大丈夫なのかどうか。 市民の声は届かない。小さなことだが、小さなことからこそ！！と思うが、諦めている。 自己中心に仕事を大切にしてきたことにより、夫や子どもが大変であったこと。今の年になり一人で暮らすことの辛さ。仕事だけが生きる全てになってしまったこと。

〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？〕

年代	性別	居住地区	意見
50 歳代	女性	名瀬	金銭的な不満がある。子ども達の仕送りも大変。幼児は子ども手当があるけれど、実際にお金がかかるのは高校卒業後。
			活気が感じられないこと。
			専門的な医師不足。市役所職員の冷たい対応。
			親戚や周りの人達のいざこざ。
			主人が亡くなり、母子手当に頼り生活していたが、その手当をいただけるのもあと2年。その後、私の収入だけでどうやって生活するのか今からとても不安。
			奄美、大島郡から離れて暮らしたことがないこと。
			医療格差、島外から来る医者に「田舎だからこのくらいで」と思われていることを多々感じる。これさえなければパーフェクト。
			県大会参加費用が高い。大会日程は、離島の事を考えていないように思う。送料なども高い。
			シングルマザー、不良と呼ばれる子どもが多い。未来は子どもが作るということをもっと考えてほしい。
			職員の方々は、日々住民の立場になって考えていますか。このまま奄美に住み続けたくないです。税金も高いと思います。
			公共交通の便が悪い。ルートの改善も必要なのではないか。
			仕事の選択肢が少ないこと。
	住用	医療機関の充実。専門医が不足している。	
		電波の受信状況が悪い。特にラジオが全く使えない。犬を飼う人のマナーが悪い（放し飼い、予防接種をしない、劣悪な環境での飼育）。これらを見るのがとても悲しく感じる。	
		病院の選択肢が少なすぎる。 (名瀬を含めて)	
	笠利	人とのつながりがある意味辛く感じる時。	
		役所書類の発送や手続きが遅い。島の人々になじめなく、疎外感を感じる。運転マナーの悪さ。賃金を引き上げて、若い人が島で働けるような環境を作る必要がある。労働環境が劣悪であること。賃金の割に家賃が高く、一般的な人々の生活が苦しいように感じる。住民は海や自然環境にももっと関心を向けてほしい。	
	-	名瀬	仕事がないこと。
台風で物資が届かないときに、不便を感じる。			
年を重ねるごとに仕事探しが困難になること。			
医療機関、専門医が不足していること。			
島に将来性がない。			
現在病気で収入0、先行き不安、見通しが見えない。			
笠利	頑張っ働いてお金を貯めようとしても税金がやたらと高い。生活保護、母子家庭の人達の一部は税金も払わず、ぜいたくな暮らしをしていること。調査してほしいと思う。		
-	台風時に物資が届かなくなる。		
60 歳代	男性	名瀬	私1人に対し、県行政は加害者が公務員である事を理由に隠ぺい工作をしようとしている。隠ぺい工作については、2件も存在する。鹿児島県行政は腐りきっている。
			福祉、介護認定に問題があり、非常に不満。
			物価高。特に野菜が高いこと。
			物を処分するときの料金が高すぎる。
			子供達、若者にとって安定した職場が必要。公務員と民間の格差が大きい。
			隣人が偏狭。差別的態度があること。
			航空運賃が高いこと。
			ルール違反や道路等の改善が速やかにいかないところ。
			バス等の公共交通機関。
			航空運賃が高い。行動が制限される。
			自分の弱さを感じたとき。
			独身であること。
			お金がない。
			公共交通機関が不便。
			交通の便が悪い。
		県外に子どもたちがおり、あまり帰ってこないこと。孫の顔が見られないこと。	
		市営住宅などの修理が出来ていない。医療が充実していない。賃金が低く、生活にゆとりがない。	
		町内会活動などが多すぎる。	
		住用	公共交通機関。
			健康不良、知人の不幸があったとき。
			もっと自分の回りがきれいになってほしい。ジュース缶やゴミがあふれている。
			運転のモラルの低下。仕事がないこと。低賃金、福利厚生が充実していない。仕方のないこともあるかもしれないが、今後子や孫が帰ってきやすい環境に少しでも近付けるように願う。
			仕事がなく、あっても低賃金なこと。
			仕事がないこと。
		笠利	仕事がないこと。
			運送のモラルの低下。仕事がないこと。低賃金、福利厚生が充実していない。仕方のないこともあるかもしれないが、今後子や孫が帰ってきやすい環境に少しでも近付けるように願う。
			仕事がなく、あっても低賃金なこと。
仕事がないこと。			
運送のモラルの低下。仕事がないこと。低賃金、福利厚生が充実していない。仕方のないこともあるかもしれないが、今後子や孫が帰ってきやすい環境に少しでも近付けるように願う。			
仕事がなく、あっても低賃金なこと。			
仕事がないこと。			
運送のモラルの低下。仕事がないこと。低賃金、福利厚生が充実していない。仕方のないこともあるかもしれないが、今後子や孫が帰ってきやすい環境に少しでも近付けるように願う。			
仕事がなく、あっても低賃金なこと。			
仕事がないこと。			
運送のモラルの低下。仕事がないこと。低賃金、福利厚生が充実していない。仕方のないこともあるかもしれないが、今後子や孫が帰ってきやすい環境に少しでも近付けるように願う。			
仕事がなく、あっても低賃金なこと。			

〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？〕

年代	性別	居住地区	意見		
60 歳代	男性	笠利	高齢化が進んでいることで、様々な問題が生じている。 車が使えなくなったとき、現在の交通基盤では普通の生活に支障をきたすこと。		
			自然災害(特に台風)		
			海の生物が少なくなったこと。		
			食べる専門店が少ない。		
			収入減のため不満。		
	女性	名瀬	子供が小学生の時、担任からの嫌がらせを受け、家族中が結束してやっと解決に至ったが、狭い奄美市での人との対応が大変だった。病気になった時の医療格差を感じる。 知人が多すぎてなかなか本音が言えないこと。 車の運転ができないと出かけられない。中心街が分断されて、買い物不便になった。 自衛隊が配備されたこと。無駄な公共投資が多すぎる。所得が低すぎる。 年金がもう少しあったらと考えるとき。老後の生活が不安を感じる。 仕事が忙しく、友人と遊ぶ暇がないこと。 貯蓄がなく、将来が不安。 日常生活のさまざまな事が夫の親族によって決定される。経済的な面でも、個人預金にまで口出ししてきて提出を強要される。 長男の嫁は嫁ぎ先親族全員の奴隷であり、休む事は許されない。 マナーの悪さ(交通、環境) 子供が帰省する時の航空運賃が高いこと。 離島の為に医療機関で鹿児島などの本土に受診する必要があること。 その際の宿泊費や旅費等の費用が大変なこと。 子供や孫たちが近くにいないこと。 観光客やIターン者が多く、年々住みづらさを感じる。頑張っている方には申し訳ないが、個人的には世界遺産認定はされなくていいと思っている。 子供達の遊べる施設が少ないこと。 時々台風が直撃すること。 遊びに行けるところがなく、子どもや孫を連れていけない。 子どもが4人おりますが、全員島外に住んでいる。Uターンしてほしいと思っている。 子ども達が大学を卒業したら、みんな都会で仕事をして生活をする事。 年金が少なく、物価が高い。 収入が少なく、生活が困難。歯科、耳鼻科が足りず、治療が出来ない。 自衛隊は必要ない。町が汚く、恥ずかしい。 賃金が安い。鹿児島県の最低賃金を上げてほしい。 市内の道路、住用周辺の道路脇の雑草、ゴミの散乱などとても気になる。 このまま高齢化が進むと、この島はどうなるのか。島外に住む子どもたちを呼び戻したいが、仕事面で不安に思う。 税が上がるなら、給与も上げてほしい。 物価が高い。遊ぶ場所が少ない。仕事が少ないので、子どもを呼び戻せない。 老後。 仕事(少なさ、賃金の低さ)		
			住用	交通の便が悪い。県外へいく時の運賃が高い。今は車の運転が出来るが、将来出来なくなったときの移動手段に不安を感じる。 1人であることに不安を感じる。世間が狭すぎる事。 住用にはスーパーがないこと。今は車を運転して行けるが、この先が不安。	
				笠利	合併により税金が上がったこと。名瀬との格差があるように感じる。 航空運賃、ガソリン代、物価が高い。運転できない年齢になると困ると思う。 交通の便が悪い。車を運転できない年齢になると、生活が不便になること。 今何でもネット等が使われており、人と人とのふれあいや関わりが希薄なところ。 自分の時間がなかなかとれず、ゆっくり出来ないこと。 美味しいと思う食材が手に入らず、内地から取り寄せなければならないこと。 お店が少ないこと。バスが少ないこと。 買い物にも不便。これ以上年を重ねると運転もできなくなるので不安。 何か病気やけがで動けなくなったとき、病院や買い物に行けなくなるのではと心配。 また、この島では結婚して生活を維持できる賃金がいただけないために、未婚の男性が多いと思う。
					-
			名瀬		子供達が働く場が少なく、帰ってこられない(将来が見えない)。他県に比べ医療機関が不足している。 健康保険、介護保険料が高すぎる。 近隣住民がゴミを不法投棄している。窓を開けるたびにゴミが目に入り、嫌な気持ちになる。 時給が安いこと。 物価が高い。生活保護者が多い。医療機関がなく、いい先生もいない。 夏の間は、台風が来る度に食料品を買いだめしておかなければならないこと。 人口の減少。

〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？〕

年代	性別	居住地区	意見				
60 歳代	-	名瀬	車社会で便利になったのはいいが、町内をスピードを出して走る車がいる。ゴミ出しのマナーが悪い。通勤中に投げている人がある。カラスの害がある。犬の散歩時のフンの後始末。				
		住用	大型スーパーがないこと。				
		笠利	社会保障、年金減、福祉、車の移動。 仕事をしたい。 働けなくなったときに、年金だけで生活できるのか不安。				
70 歳代	男性	名瀬	子供達夫婦が島で生活できないこと。 年金が生活保護世帯より少なく、経済的に苦しく不安を感じる事。 他人の批判をする人が多いこと。自分だけが得をしたいと思う人が多いように感じる。 住んでいる島民が奄美の良さに鈍感である事。 医療機関や福祉がもっと充実してほしい。 奄美市職員に不満が多々ある。 交通マナーの悪さ。指定日以外にゴミを捨てるなどのマナーの悪さ。 離島のため、生活物資のほとんどが本土からの海上輸送になっている。 台風等で、これが滞ることがある。 人が少ない。食べ物も少ない。収入が少なく、仕事も少ない。交通の便も悪い。 独り暮らしのため、将来が不安。 マナーを守らない人が多すぎる。 交通網の整備、特に近隣町村の整備が足りない。市街地商店の整備が遅れているように感じる。 交際費がかさむこと。 年をとるごとに、外との付き合いが減っている。 離島運賃をもっと下げてほしい。				
			笠利	集落内の街灯が少ない。カーブミラーが壊れたまま放置されていること。 市役所、職員の何割かは礼節や常識がない。高校生のバス通学は龍郷町のように免除するべきだと思う。 龍郷町に転居する家庭が多くなっているように感じる。			
				名瀬	年齢と共に体調が悪くなり、通院が困難になっていること。 賃金は安いのに、家賃が高いこと。 持病があること。 市街地に居住しているが、役所の手が行き届かないことに不満を感じる。 大きな商業施設(デパート等)がなく、1日ゆっくりぶらぶら出来る所がない。 近頃は事件が多く、夏場は台風が心配。 平田、真名津町にグラウンドゴルフ等ができる公園がない。自衛隊車両を見かけると不安を感じる。 家族の体調が悪いこと。 後期高齢者だけでも、市内一円バスを無料にしてほしい。 仕事をしている時に腰を痛めてしまい行動が辛い。 世界状況が心配。戦争などが起こらないことを祈る。 専門医がないので、都会へ行くと旅費宿泊費がかさんで大変になる。福祉施設をもっと充実させてほしい。これから先10年後を想像するととても不安になる。将来のためには健康維持が不可欠と思い、毎日プール通いをしている。 生活保護の認定に対し、不信に思っています。年金でとても足りないのに働いていますが、私も生活保護に変えたいくらいです。もう変えてほしい。 子供の事。希望に見合った家賃の物件がないこと。 近くに駐車場も店もなく、生活が大変不便。 離島ゆえの台風暴風時の船の欠航。生活物資の不足。 小さいときに身内を亡くしたこと。人の真似をする人が多い。 子どもが近くにいないこと。 生活が大変。 台風時に船や飛行機が欠航になること。 何もかも物が高い。 夫に先立たれたこと。夫の年金が私の基礎年金を差し引いた1/4しかいただけないこと。 若い時のように仕事ができないこと。 年金生活だが、年々介護保険料などの額が上がり、生活費に支障が生じている。 医療機関や専門医があまりにも少ないこと。 ミサイル配備をいとも容易く受け入れたこと。かつて、賢人たちが無血でなした島の雰囲気壊していると思う。 物騒なものは奄美には似つかわしくないし、不安も煽る。		
					笠利	交通費が高い ケガをして、いつもの生活が出来ないとき。 子どもに先立たれ、主人にも逝かれたこと。 近くにスーパーがないこと。 地理的に不便。美術館などの施設が少ないこと。	
						-	交通費が高い ケガをして、いつもの生活が出来ないとき。 子どもに先立たれ、主人にも逝かれたこと。 近くにスーパーがないこと。 地理的に不便。美術館などの施設が少ないこと。

〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？〕

年代	性別	居住地区	意見
70 歳代	-	名瀬	子どもたちの夏休みのラジオ体操がうるさいとクレームをつける人のために、土日祭日などは休みにしていること。バス乗り場が高い場所なので、高齢者にとっては不便であること。
			NTT、九電が移転したこと。本土との陸続きでないこと。飛行機や船を利用しないと移動できないこと。
			バスやその他の車。
		笠利	不幸はあまり感じないが、これから先の不安はある。離島のためか物価も高い。
			隣の民泊の客が夜中まで賑やかにして、眠れないとき。
			約 40 年間働いて、収入所得に応じて給料から年金が差し引かれてきたのに、高年齢になった今、年金受給額が減っていているのがおかしいと思う。高齢者は働かず収入の見込みがない。年金が生活の全て。
		-	もっと時間がほしい。
			保険料が高い。後期高齢者の医療費を安くしてほしい。年金が少なくなるので、困る。
			国道だけはきれいにしてほしい。本茶トンネルの中に水が入らないようにしてほしい。年をとって家にばかりいること。
80 歳以上	男性	名瀬	一般的に不景気だと感じる。
			自分で歩いて移動できないこと。
			高齢と共に病院通いが多くなっていること
		住用	離島苦がある。特に航空運賃が高いことなど。
			名瀬地区から遠いため、マイカーかバス利用が必要です。バスを利用する場合は、ちょっとした用事で名瀬まで出たくても長時間バスを待たなければならない。
			妻に先立たれ、82 歳の独居老人のため、この先希望が持てない。
	笠利	一人であること。	
		日々の生活が不安である。	
		自分が老いて体が不自由なこと。	
	女性	名瀬	最近では高齢者がよくデイケアに行くが、老いては子に従えではなく、老いてはできれば自由がいいと思う。
			自由に動けなくなったこと。
			年をとって近所との付き合いが難しくなってきた。
			一人暮らしなので、昔の懐かしい近所付き合いをなつかしく思う。
			増税。
			借家であること。
		住用	体が不自由。家屋の修理、片付けが出来ない。
			最近墓参りをするのが苦痛に感じる。ゴミの持ち帰りはタクシーを利用している。ついでに病院や買い物にも出かけていたが、ゴミ袋を持っていたは不可能。日常生活を良くしてからこういうアンケートは出してほしい。
			気分が悪くなり緊急入院した時に、その病院の医師が、「どこも悪いところはないから精神病院に行くように」と他の入院患者にも聞こえるように言った。信じられないし、心も折れた。
主人が病気になったことで、日々の生活に少し不自由さを感じる様になった。			
一人暮らしなので、寂しく不安でいっぱい。			
近所に同年齢の友人がいない。夜中に病気になったら、受け入れてくれる病院があるのか心配。			
笠利	身体が動けなくなるとき。		
	独り暮らしなので、生活する上で何かと不便さを感じる。		
	生活費がかかること。		
-	名瀬	健康状態が不安。	
		市内にもっといい優れた医者がいらっやれば良いと思う。	
		バスの乗り降り。ノンステップバスを導入してほしい。	
-	住用	交通が不便。	
		物価が高いこと。	
		未だに土建行政、それを止められない民度。	
-	-	-	独り身であること。
			屋内で子供を遊ばせる施設がない。買い物する場所もなく、閉店時間も早い。
			身体が不自由であること。
-	-	-	人口が減っているので、さみしく思う。

(14) テキストマイニングによる「幸せ」や「満足」と感じる事、「不幸」や「不満」と感じる事の分析

テキストマイニングとは、通常の文章からなるデータを単語や分析で区切り、それらの出現の頻度や共出現の相関、出現傾向などを分析することで有用な情報を取り出す分析方法のことである。(12) 日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じる事、及び(13) 日々の生活で「不幸」または「不満」に感じる事について、テキストマイニングで分析した。

次頁のワードクラウド^{※1}は出現回数が多い(多くの人が回答・挙げた)言葉を抽出し、その値に応じた大きさを図示している。名詞は青色、動詞は赤色、形容詞は緑色となっており、共起回数は、文章中に出現する単語で、隣接して出現する回数が多い組み合わせを上位から表にして示した。

「幸せ」または「満足」に感じる事について、今回の調査(令和元年度)では、「奄美」や「自然」、「豊か」、「ふれあう」、「暮らせる」、「健康」等の単語の出現回数が増えており、共起回数では、「自然 豊か」が最も多く、次いで「できる 生活」、「幸せ 感じる」、「健康 家族」、「奄美 自然」、等の順となっている。過去3回の結果をみても同様の単語の出現が増えてきている。また、スコア^{※2}の上位を比較すると、1位は「奄美」で、「自然」や「豊か」、「健康」といった上位の単語は順位に変動はあるものの10位以内に入っており、豊かな自然や温暖な気候といった奄美ならではの環境の中で家族が健康で過ごせる(生活できる)ことを幸せと感じる人が多いことがうかがえ、その傾向に大きな変化は見られない。

一方、日々の生活で「不幸」または「不満」に感じる事について、今回の調査(令和元年度)では、「少ない」や「物価」、「離島」、「医療機関」、「交通」等の単語の出現回数が増えており、共起回数では、「物価 高い」が最も多く、次いで「交通 便」、「島 思う」、「交通 悪い」、「便 悪い」、「航空 高い」等の順となっている。過去3回の結果をみても同様の単語の出現が増えてきている。また、スコアの上位を比較すると1位「物価」、2位「少ない」、3位「島」といった上位の単語は順位に変動はあるものの概ね10位以内に入っており、最も不満に感じているのは物価に対してであるが、「交通」の順位が過去3回の調査に比較して上位に挙がっている。

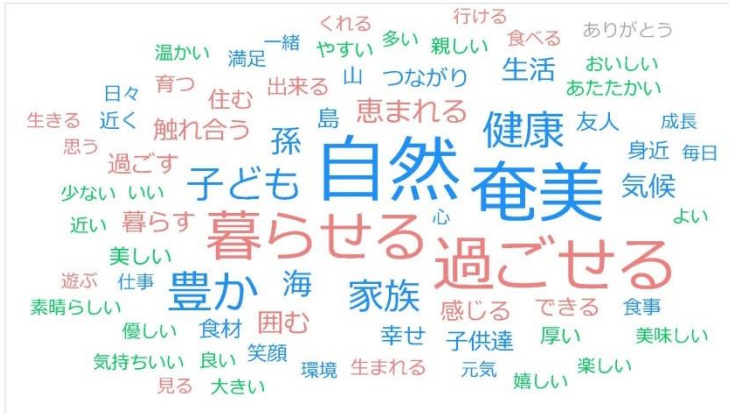
※1) ワードクラウド: スコアが高い単語を選び出し、その値に応じた大きさを図示したもの。

※2) スコア: 文章の中でどれだけ特徴的かを点数化したもの。通常は単語の出現回数が多いほどスコアが高くなるが、「言う」や「思う」等、どのような種類の文章にも現れる単語についてはスコアが低めになる。

ツール: ユーザーローカル テキストマイニングツール (<http://textmining.userlocal.jp/>)

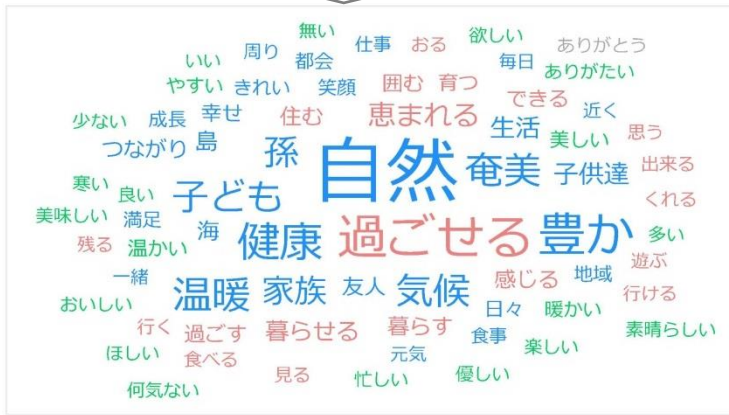
〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることのワードクラウド〕
〔H28年度〕

〔共起回数 上位〕



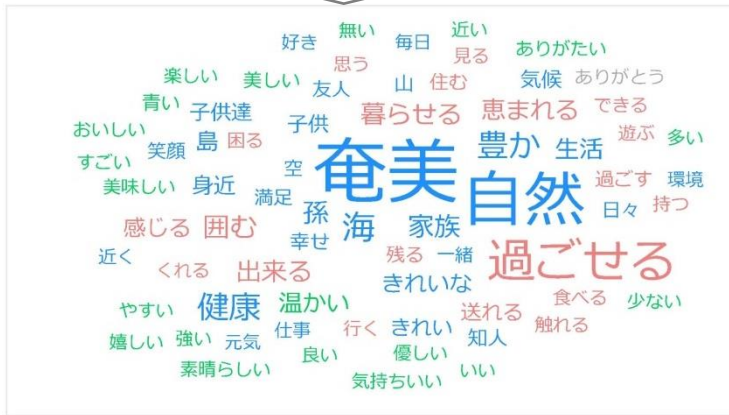
	単語1	単語2	共起回数
1位	自然	豊か	43
2位	できる	生活	31
3位	幸せ	感じる	28
4位	健康	家族	19
	山	海	19
5位	海	自然	17
	家族	過ごせる	17
6位	出来る	生活	16
7位	子ども	孫	14

〔H29年度〕



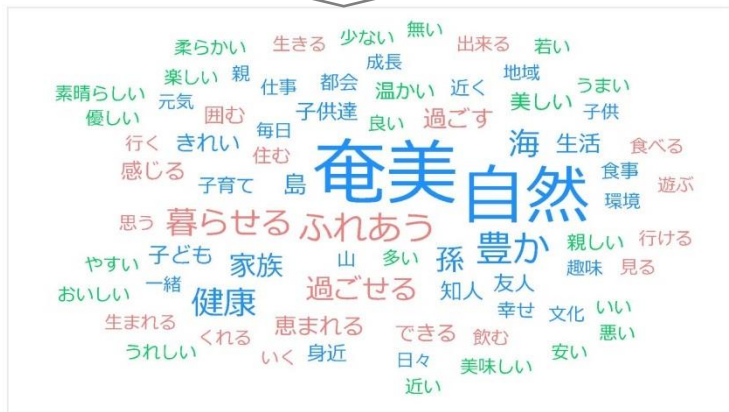
	単語1	単語2	共起回数
1位	自然	豊か	41
2位	健康	家族	21
3位	できる	生活	20
4位	気候	温暖	18
5位	幸せ	感じる	17
6位	子ども	成長	13
	子ども	孫	13
7位	健康	生活	12
	家族	幸せ	12

〔H30年度〕



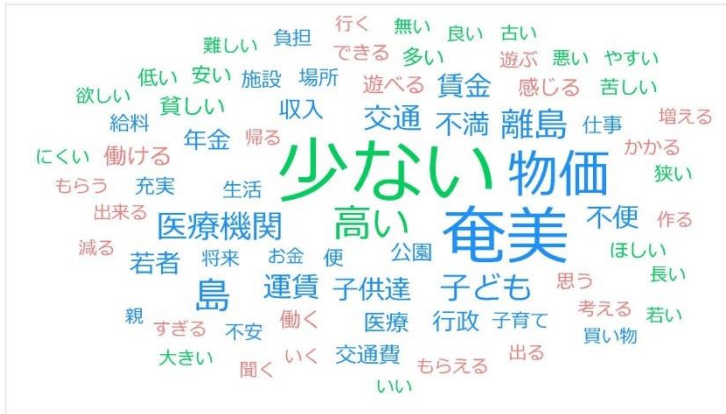
	単語1	単語2	共起回数
1位	自然	豊か	26
	出来る	生活	26
2位	健康	家族	20
3位	山	海	17
4位	幸せ	感じる	15
5位	海	自然	13
6位	海	空	12
7位	きれいな	海	10
	きれいな	海	10
	感じる	自然	10

〔R元年度〕

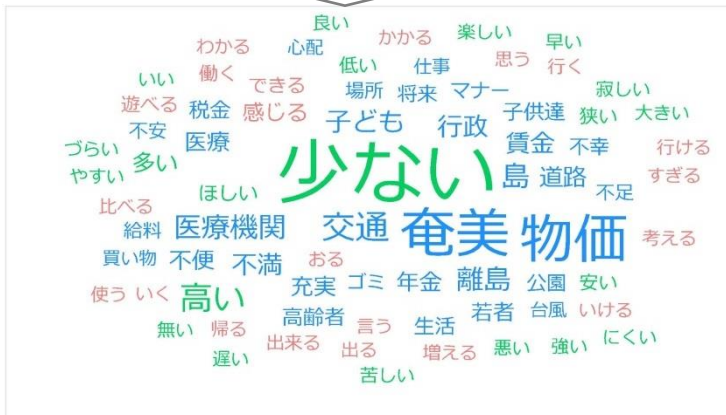


	単語1	単語2	共起回数
1位	自然	豊か	28
2位	できる	生活	22
3位	幸せ	感じる	14
4位	健康	家族	13
5位	奄美	自然	11
6位	きれいな	海	9
	家族	過ごせる	9
	山	海	9
7位	自然	身近	8
	海	自然	8
	家族	生活	8
	できる	健康	8
	友人	知人	8

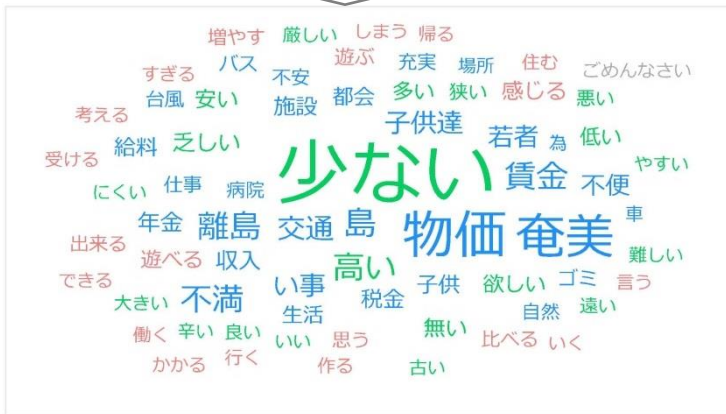
〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることのワードクラウド〕
〔H28年度〕



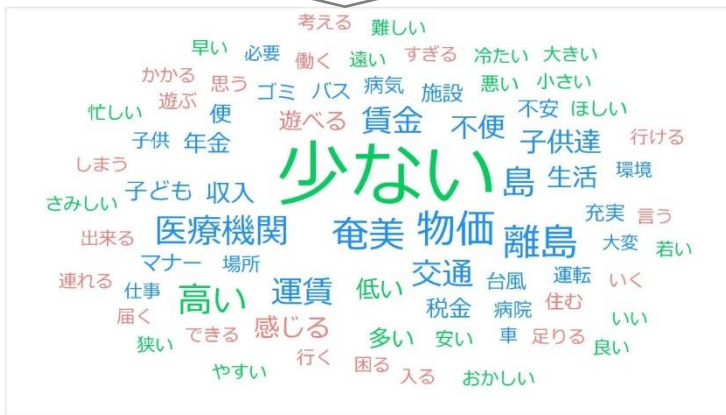
〔H29年度〕



〔H30年度〕



〔R元年度〕



〔共起回数 上位〕

	単語1	単語2	共起回数
1位	物価	高い	34
2位	場所	少ない	18
3位	仕事	少ない	17
4位	少ない	若者	13
5位	いい	思う	10

	単語1	単語2	共起回数
1位	物価	高い	37
2位	場所	少ない	12
	子ども	少ない	12
3位	すぎる	多い	10
4位	充実	医療機関	8
	不便	交通	8
	仕事	少ない	8
	不満	感じる	8
5位	税金	高い	7
	できる	生活	7
	不幸	不満	7

	単語1	単語2	共起回数
1位	物価	高い	21
2位	不満	感じる	9
	安い	賃金	9
3位	安い	給料	8
	子供	遊ぶ	8
4位	不便	交通	7
	仕事	若者	7
	収入	少ない	7
	仕事	無い	7
5位	増やす	欲しい	6
	家賃	高い	6
	税金	高い	6
	仕事	島	6

	単語1	単語2	共起回数
1位	物価	高い	15
2位	交通	便	9
	島	思う	9
3位	交通	悪い	8
	便	悪い	8
	航空	高い	8
	運賃	高い	8
	仕事	少ない	8
	不安	感じる	8
4位	税金	高い	7
	すぎる	多い	7
	多い	感じる	7
	場所	遊ぶ	7
	航空	運賃	7
	少ない	病院	7
5位	できる	生活	6
	少ない	遊べる	6
	いい	思う	6
	思う	生活	6
	不便	感じる	6
	感じる	生活	6

〔日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることのスコア 上位の比較〕

〔H28年度〕

順位	単語	スコア	出現頻度
1位	自然	262.04	119
2位	奄美	239.55	40
3位	豊か	131.40	50
4位	健康	110.57	74
5位	子ども	97.78	63
6位	家族	91.17	91
7位	過ごせる	72.32	40
8位	暮らせる	63.35	20
9位	孫	63.13	29
10位	海	60.83	55

〔H29年度〕

順位	単語	スコア	出現頻度
1位	自然	158.67	117
2位	子ども	87.23	81
3位	豊か	81.92	54
4位	家族	67.84	80
5位	気候	63.46	30
6位	過ごせる	60.16	33
7位	健康	29.94	79
8位	生活	29.58	54
9位	幸せ	18.04	50
10位	奄美	14.00	20

〔H30年度〕

順位	単語	スコア	出現頻度
1位	自然	96.66	87
2位	過ごせる	46.40	28
3位	家族	32.52	53
4位	豊か	27.30	28
5位	奄美	25.90	37
6位	生活	20.96	49
7位	健康	12.55	50
8位	子ども	11.97	43
9位	温かい	11.71	13
10位	きれい	10.92	64

〔R元年度〕

順位	単語	スコア	出現頻度
1位	奄美	188.63	33
2位	自然	161.91	87
3位	豊か	67.51	32
4位	健康	52.03	47
5位	海	48.20	48
6位	孫	38.38	21
7位	家族	33.98	52
8位	島	21.36	18
9位	ふれあう	20.01	7
10位	生活	18.79	39

〔日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることのスコア 上位の比較〕

〔H28年度〕

順位	単語	スコア	出現頻度
1位	奄美	210.21	36
2位	物価	151.45	35
3位	少ない	87.39	100
4位	島	86.75	43
5位	離島	74.57	18
6位	子ども	58.40	46
7位	交通	54.08	22
8位	不満	41.85	26
9位	子供達	40.78	22
10位	不便	37.65	24

〔H29年度〕

順位	単語	スコア	出現頻度
1位	物価	133.62	39
2位	少ない	86.19	104
3位	不満	36.62	5
4位	子ども	36.30	49
5位	交通	33.06	22
6位	不便	22.57	18
7位	奄美	22.40	32
8位	高い	21.74	75
9位	賃金	18.95	14
10位	医療	16.00	16

〔H30年度〕

順位	単語	スコア	出現頻度
1位	物価	75.58	26
2位	少ない	52.82	79
3位	不満	34.81	26
4位	賃金	26.02	17
5位	不便	18.52	16
6位	高い	16.54	65
7位	子ども	15.35	49
8位	集落	13.37	9
9位	奄美	13.30	19
10位	給料	13.27	18

〔R元年度〕

順位	単語	スコア	出現頻度
1位	物価	52.49	16
2位	少ない	47.58	71
3位	島	39.20	26
4位	交通	33.50	16
5位	賃金	32.76	14
6位	子供達	24.59	16
7位	不便	23.53	18
8位	生活	18.79	39
9位	高い	14.67	52
10位	子ども	11.42	18

3. 奄美幸福度指数

(1) 奄美幸福度 DI

DI (Diffusion Index) は、企業や業界の景況感等を数値化した指標で、日本銀行の「全国企業短期経済観測調査」(日銀短観)などで用いられるものである。

各単純集計結果の「分からない」及び無回答を除いた回答数を求めた上で、『そう思う(「大いにそう思う」と「まあまあそう思う」の合計)』の構成比から、『そう思わない(「あまりそう思わない」と「全く思わない」の合計)』の構成比を引いて奄美幸福度 DI として指標化すると、以下のとおりとなった。全てにおいてプラスであり、特に「おもてなし意向度」と「愛着度」はそれぞれ+73、+72 と他に比べ高くなっている一方、「医療・福祉環境の満足度」は+1 と、プラス圏内にあるものの他項目に比べ大幅に低くなっている。

〔「分からない」及び無回答を除く回答数の構成比(%)と奄美幸福度 DI〕

	『そう思う』		どちらとも言えない	『思わない』			奄美幸福度DI	
	大いに そう思う	まあまあ そう思う		あまり そう思わない	全く 思わない			
生活の満足度	44	18	26	40	16	11	5	+ 28
将来への希望度	40	16	24	35	25	16	9	+ 15
結い度	67	39	28	20	13	8	5	+ 54
愛着度	79	58	21	15	7	3	3	+ 72
教育環境の満足度	61	32	29	26	12	8	5	+ 49
医療・福祉環境の満足度	33	10	23	36	31	21	11	+ 1
地産地消度	67	36	31	24	9	6	3	+ 58
招待意向度	60	31	29	24	16	9	7	+ 44
おもてなし意向度	80	53	27	13	7	3	4	+ 73
永住希望度	72	51	20	16	13	7	6	+ 59

なお、平成 28、29、30 年度との比較をみると、「地産地消度」は1ポイント上昇、「結い度」は横ばい、その他の項目は低下した。特に「招待意向度」は9ポイント低下、「医療・福祉環境の満足度」も6ポイント低下し、28年度から一貫して最下位となっている。

〔奄美幸福度 DI の 28、29、30 年度との比較〕

	奄美幸福度DI					
	H28年度	H29年度		H30年度		R元年度
		前年比	前年比	前年比	前年比	前年比
生活の満足度	+ 26	↑ 3	+ 29	↑ 5	+ 34	↓ -5 + 28
将来への希望度	+ 15	↑ 7	+ 22	↓ -6	+ 16	↓ -1 + 15
結い度	+ 53	0	+ 53	0	+ 53	0 + 54
愛着度	+ 72	↑ 2	+ 74	↑ 1	+ 75	↓ -3 + 72
教育環境の満足度	+ 52	↑ 2	+ 54	↓ -3	+ 51	↓ -3 + 49
医療・福祉環境の満足度	+ 1	↑ 4	+ 5	↑ 3	+ 8	↓ -6 + 1
地産地消度	+ 63	↓ -6	+ 57	0	+ 57	↑ 1 + 58
招待意向度	+ 49	↑ 2	+ 51	↑ 3	+ 54	↓ -9 + 44
おもてなし意向度	+ 78	0	+ 78	↓ -2	+ 76	↓ -3 + 73
永住希望度	+ 63	0	+ 63	↑ 1	+ 64	↓ -5 + 59

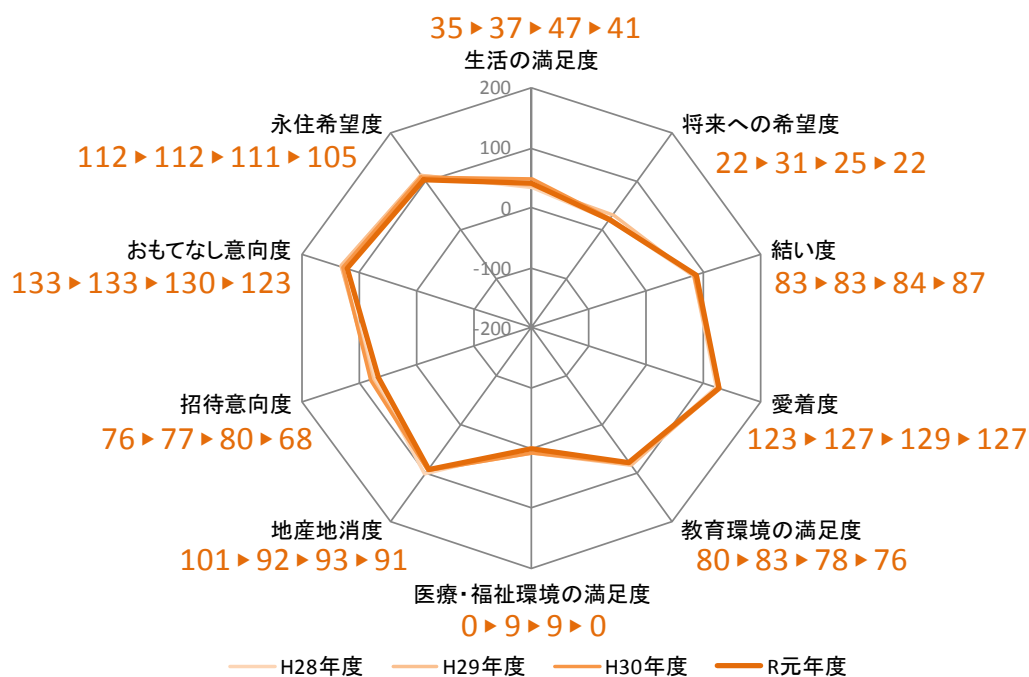
(2) レーダーチャート

各単純集計結果の「分からない」及び無回答を除いた回答数を求めた上で、それぞれの構成比に、「大いにそう思う」は+2点、「まあまあそう思う」は+1点、「どちらとも言えない」は0点、「あまりそう思わない」は-1点、「全く思わない」は-2点と点数化し、レーダーチャートで示すと下図のとおりである。

最高点 200 点、最低点が-200 点であるうち、今回の調査（令和元年度）では「愛着度」が 127 点と最も高得点で、次いで「おもてなし意向度」が 123 点、「永住希望度」が 105 点等となっている。

なお、平成 30 年度から 5 点以上変動しているのは、「招待意向度」が 28 年度から 76 点→77 点→80 点→68 点と、平成 30 年度まで上昇したが本年度で一転し 12 点減少している。また、「医療・福祉環境の満足度」は 28 年度から 0 点→9 点→9 点→0 点と 29 年度から横ばいで推移したものの本年度で減少し 0 となり、「おもてなし意向度」も 28 年度から 133 点→133 点→130 点→123 点と本年度で減少している。5 点以上増加した指標はなかった。

〔奄美幸福度のレーダーチャート〕



4. 平成 28、29、30 年度との比較

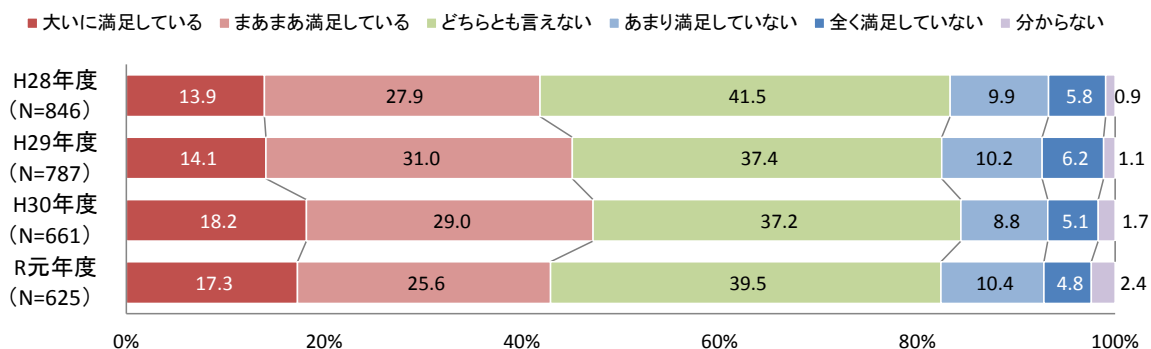
各項目について、平成 28、29、30 年度の単純集計結果との比較を行った。なお、平成 28、29 年度は調査対象者を 18 歳以上としていたが、平成 30 年度の調査より 15 歳以上としており、平成 28、29 年度の 18～19 歳と平成 30、令和元年度の 15～19 歳を、便宜的に同じ 10 歳代として比較をしているが、より若年者の意向が強くなっているものと推量される。

(1) 生活の満足度／あなたは日常生活に対して満足していますか？

日常生活に対して満足しているか（生活の満足度）について、令和元年度は平成 30 年度から「まあまあ満足している」が 3.6 ポイント減少し、『満足している』が 4.3 ポイント減少、『満足していない』が 1.3 ポイント増加した。平成 29 年度と比較すると、「大いに満足している」が 3.2 ポイント増加、「まあまあ満足している」が 5.4 ポイント減少、『満足している』が 2.2 ポイント減少、『満足していない』が 1.2 ポイントの減少となっている。同様に、平成 28 年度と比較すると、『満足している』が 1.1 ポイント増加、『満足していない』が 0.5 ポイントの減少となった。

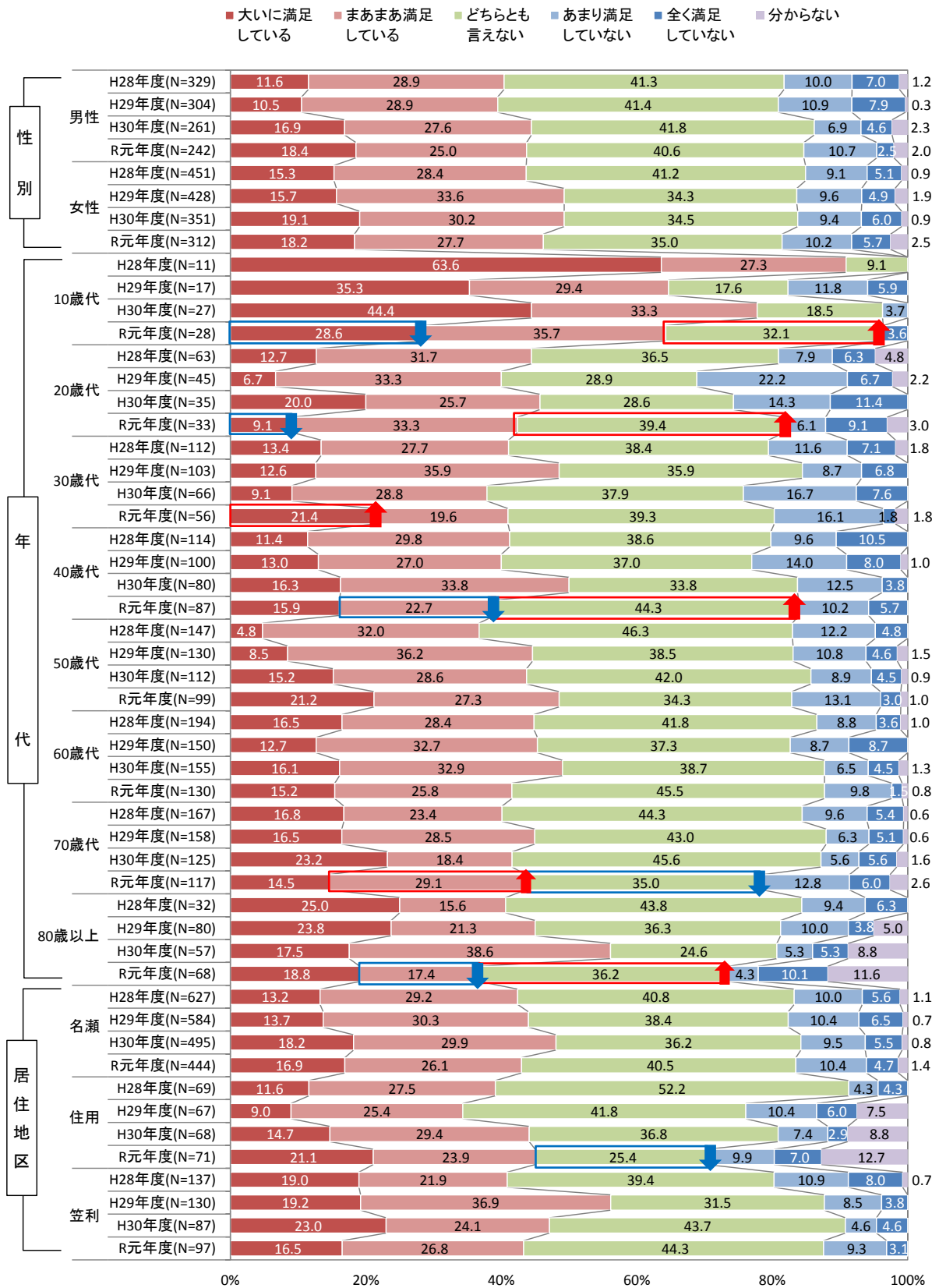
属性別にみると、平成 30 年度から 10 ポイント以上増減しているのは、年代別では 10 歳代と 20 歳代のそれぞれ「大いに満足している」が減少、「どちらとも言えない」が増加、30 歳代の「大いに満足している」が増加、40 歳代の「まあまあ満足している」が減少、「どちらとも言えない」が増加、70 歳代の「まあまあ満足している」が増加、「どちらとも言えない」が減少、80 歳代以上の「まあまあ満足している」が減少、「どちらとも言えない」が増加している。居住地区別では住用地区の「どちらとも言えない」が減少している。

〔生活の満足度／あなたは日常生活に対して満足していますか？ 経年比較〕



※無回答を除く、以下同様。

〔生活の満足度／あなたは日常生活に対して満足していますか？ 属性別経年比較〕



※無回答を除く、以下同様。

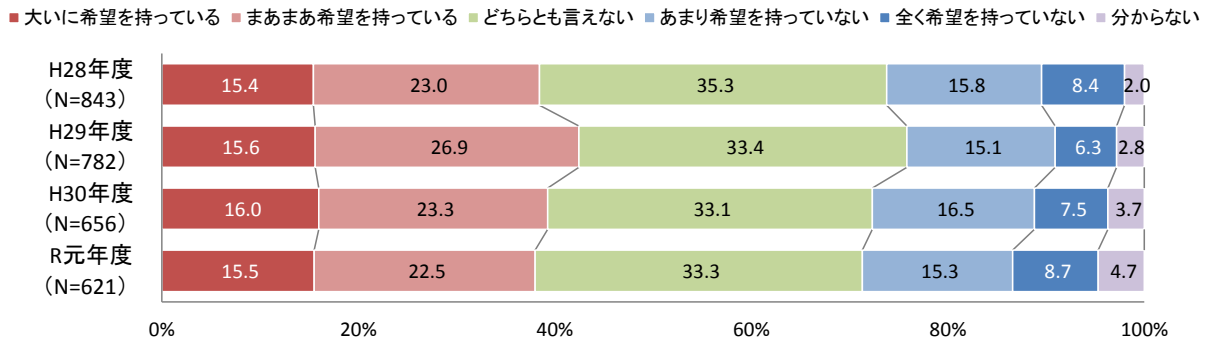
※「分からない」を除き、平成 30 年度から 10 ポイント以上増減した令和元年度の項目には ▲ (10P 以上増加) ▼ (10P 以上減少) を表記している。以下同様。

(2) 将来への希望度／あなたは将来に希望を持っていますか？

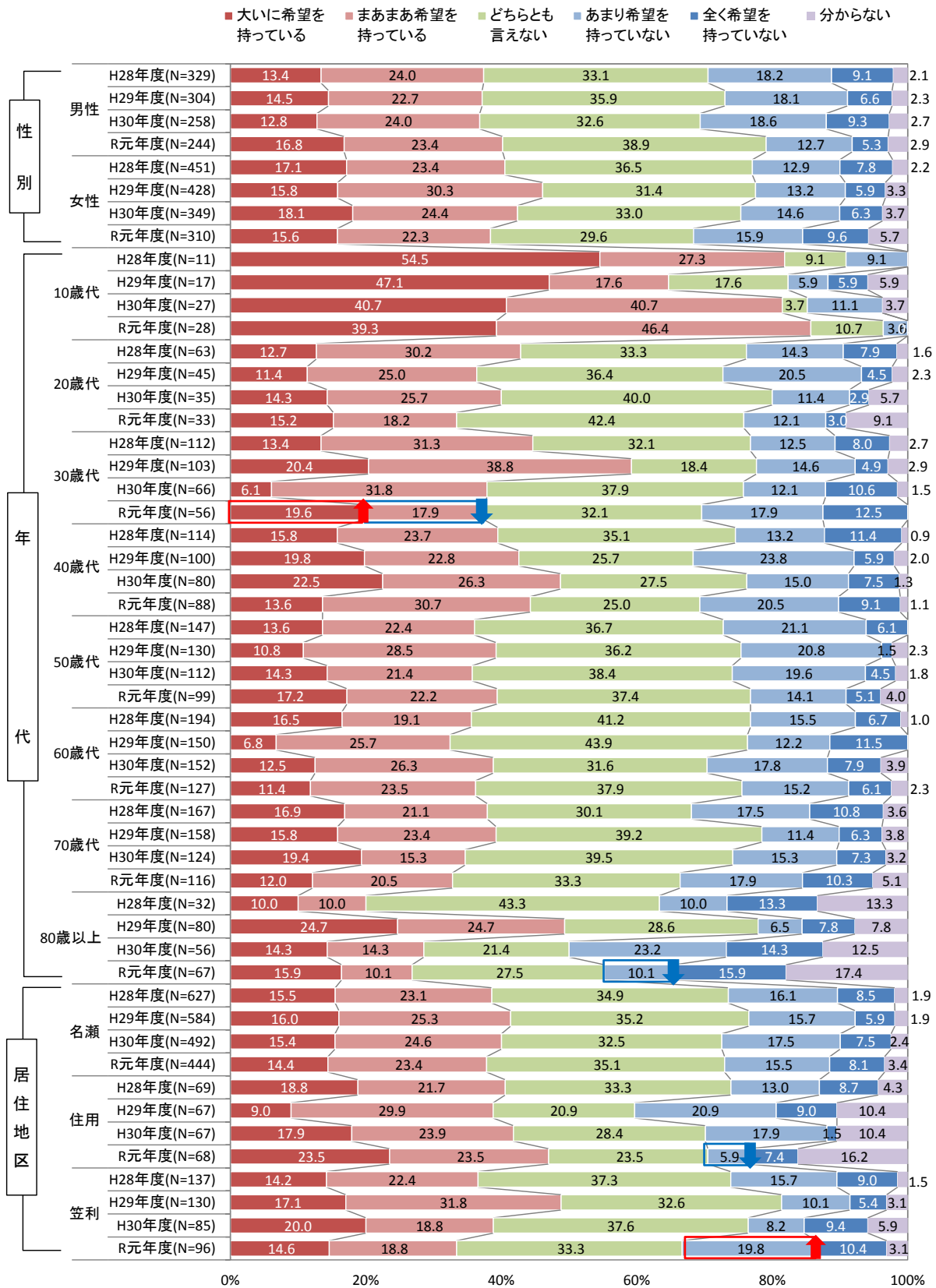
将来に希望を持っているか(将来への希望度)について、令和元年度は平成30年度から『希望を持っている』が1.3ポイント減少、『希望を持っていない』は増減がなかった。平成29年度と比較すると、「まあまあ希望を持っている」が4.4ポイント減少し、『希望を持っている』が4.5ポイント減少、『希望を持っていない』が2.6ポイントの増加となっている。同様に、平成28年度と比較すると、『希望を持っている』が0.4ポイント減少、『希望を持っていない』も0.2ポイントの減少となった。

属性別にみると、平成30年度から10ポイント以上増減しているのは、年代別では30歳代の「大いに希望を持っている」が増加、「まあまあ希望を持っている」が減少、80歳以上の「あまり希望を持っていない」が減少した。居住地区別では、住用の「あまり希望を持っていない」が減少、笠利の「あまり希望を持っていない」が増加している。

〔将来への希望度／あなたは将来に希望を持っていますか？ 経年比較〕



〔将来への希望度／あなたは将来に希望を持っていますか？ 属性別経年比較〕

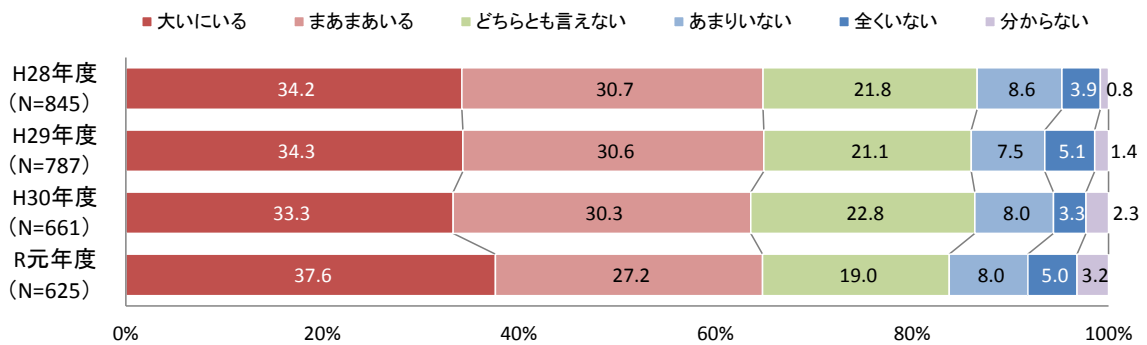


(3) 結い度／あなたが困っている時、助けてくれる人や相談できる人はいますか？

困っている時、助けてくれる人や相談できる人はいるか（結い度）について、令和元年度は平成30年度から、「大いにいる」が4.3ポイント増加、「まあまあいる」と「どちらとも言えない」がそれぞれ3.1ポイント、3.8ポイント減少し、『いる』が1.2ポイント増加、『いない』が1.7ポイントの増加となった。平成29年度と比較すると、「大いにいる」が3.3ポイント増加、「まあまあいる」が3.4ポイント減少、『いる』が0.1ポイント減少、『いない』が0.4ポイント増加となっている。同様に、平成28年度と比較すると、『いる』が0.1ポイント減少、『いない』が0.5ポイントの増加となった。

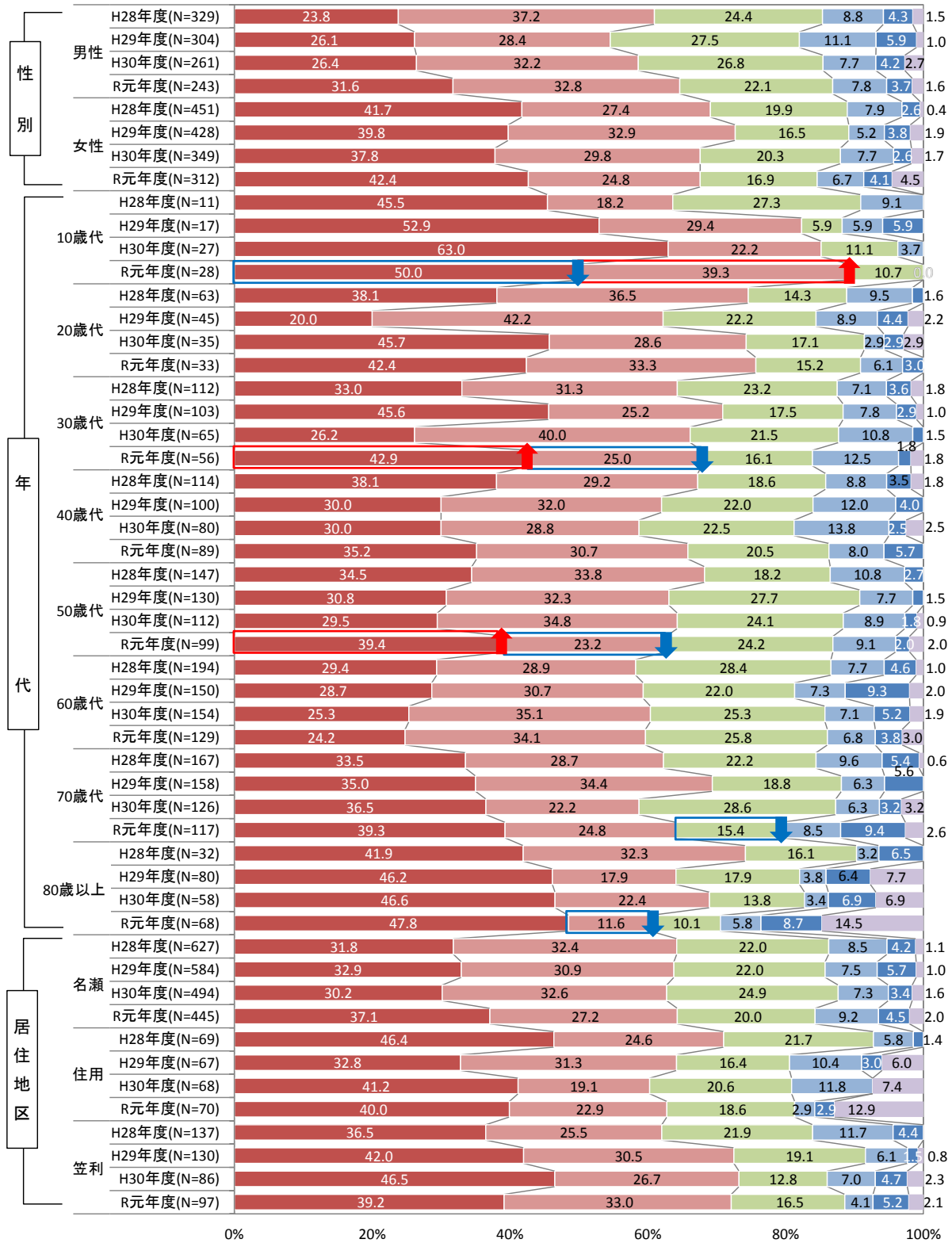
属性別にみると、平成30年度から10ポイント以上増減しているのは、年代別では10歳代の「大いにいる」が減少、「まあまあいる」が増加、30歳代の「大いにいる」が増加、「まあまあいる」が減少、50歳代の「まあまあいる」と70歳代の「どちらとも言えない」、80歳以上の「まあまあいる」が減少している。

〔結い度／あなたが困っている時、助けてくれる人や相談できる人はいますか？ 経年比較〕



〔結い度／あなたが困っている時、助けてくれる人や相談できる人はいますか？ 属性別経年比較〕

■ 大いにいる ■ まあまあいる ■ どちらとも言えない ■ あまりいない ■ 全くいない ■ 分からない

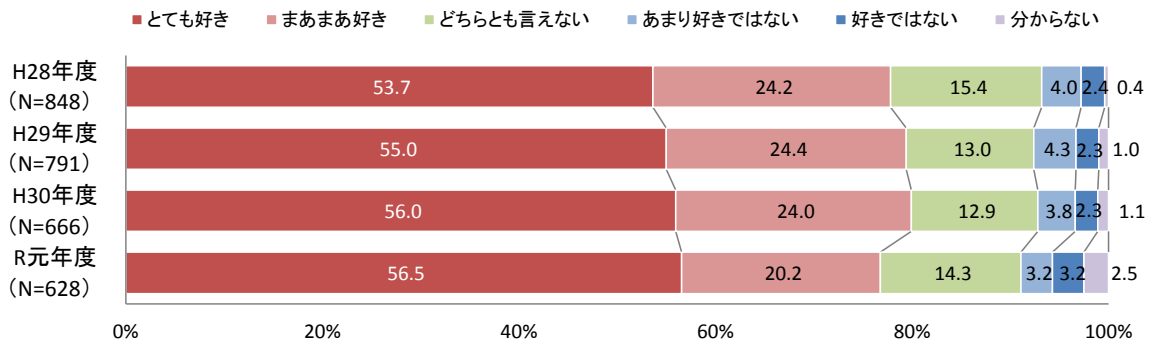


(4) 愛着度／あなたは奄美が好きですか？

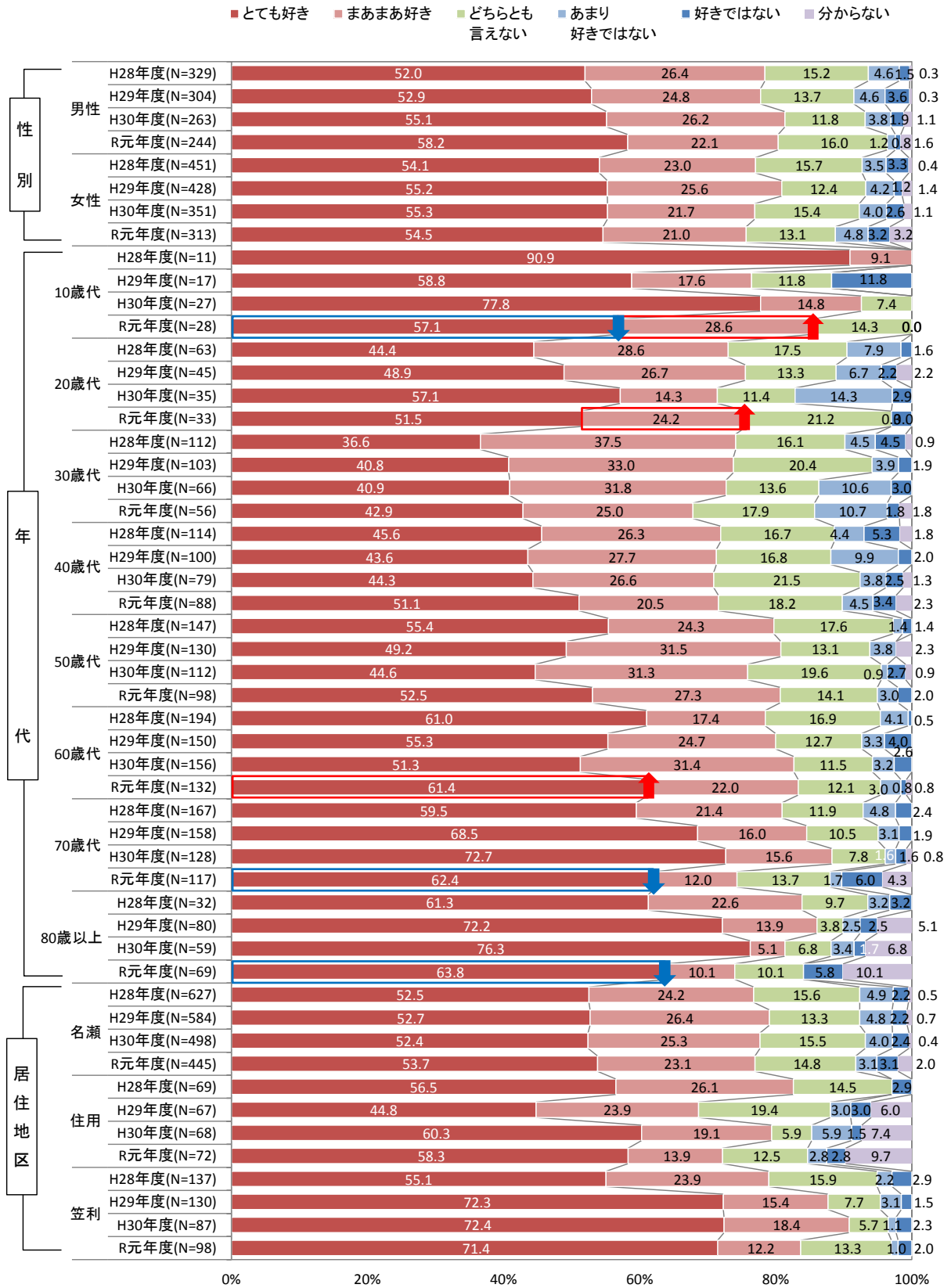
奄美が好きか（愛着度）について、令和元年度は平成 30 年度から「まあまあ好き」が 3.8 ポイント減少し、『好き』が 3.3 ポイント減少、『好きではない』が 0.3 ポイント増加した。平成 29 年度と比較すると、「まあまあ好き」が 3.8 ポイント減少し、『好き』が 2.7 ポイント減少、『好きではない』も 0.2 ポイント減少となっている。同様に、平成 28 年度と比較すると、『好き』が 1.2 ポイント減少、『好きではない』は増減なしとなった。

属性別にみると、平成 30 年度から 10 ポイント以上増減しているのは、年代別では 10 歳代の「とても好き」が減少、「まあまあ好き」が増加、20 歳代の「あまり好きではない」が減少、60 歳代の「とても好き」が増加、70 歳代と 80 歳代以上の「とても好き」がそれぞれ減少している。

〔愛着度／あなたは奄美が好きですか？ 経年比較〕



〔愛着度／あなたは奄美が好きですか？ 属性別経年比較〕

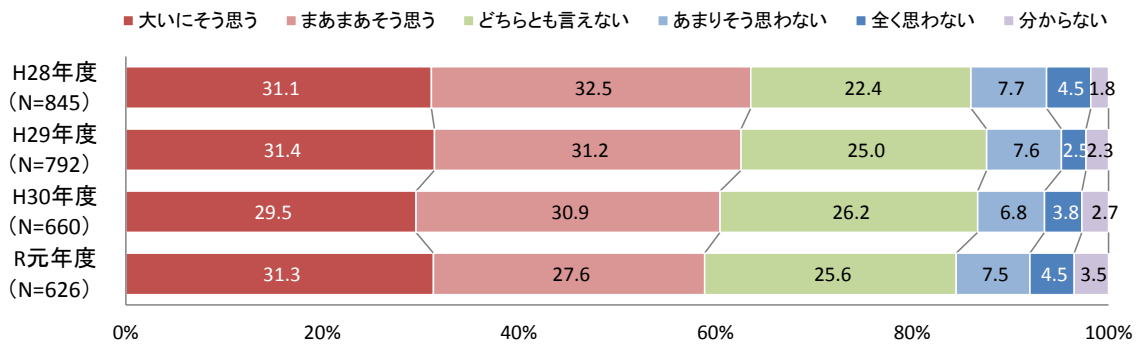


(5) 教育環境の満足度／奄美は、子どもがいきいきと健やかに、心豊かに育つ島であると思いますか？

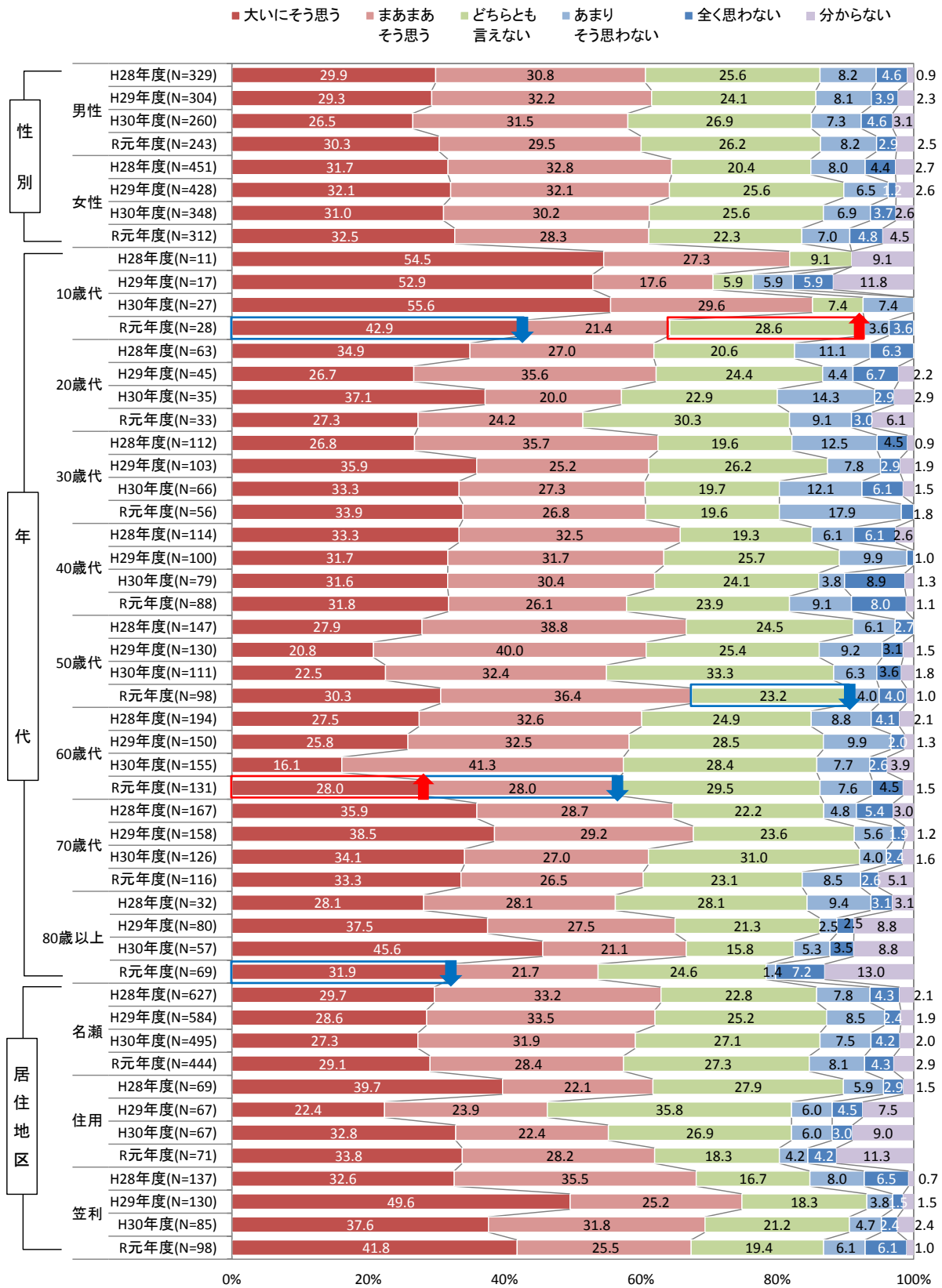
子どもがいきいきと健やかに、心豊かに育つ島であると思うか（教育環境の満足度）について、令和元年度は平成 30 年度から「まあまあそう思う」が 3.3 ポイント減少し、『そう思う』が 1.5 ポイント減少、『そう思わない』が 1.4 ポイントの増加となった。平成 29 年度と比較すると、「まあまあそう思う」が 3.6 ポイント減少し、『そう思う』が 3.7 ポイント減少、『そう思わない』が 1.9 ポイント増加となっている。同様に、平成 28 年度と比較すると、『そう思う』が 4.7 ポイント減少、『そう思わない』も 0.2 ポイントの減少となった。

属性別にみると、平成 30 年度から 10 ポイント以上増減しているのは、年代別では 10 歳代の「大いにそう思う」が減少、「どちらとも言えない」が増加、50 歳代の「どちらとも言えない」が減少、60 歳代の「大いにそう思う」が増加、「まあまあそう思う」が減少、80 歳以上の「大いにそう思う」が減少している。

〔教育環境の満足度／奄美は、子どもがいきいきと健やかに、心豊かに育つ島であると思いますか？ 経年比較〕



〔教育環境の満足度／奄美は、子どもがいまいと健やかに、心豊かに育つ島であると思いますか？ 属性別経年比較〕

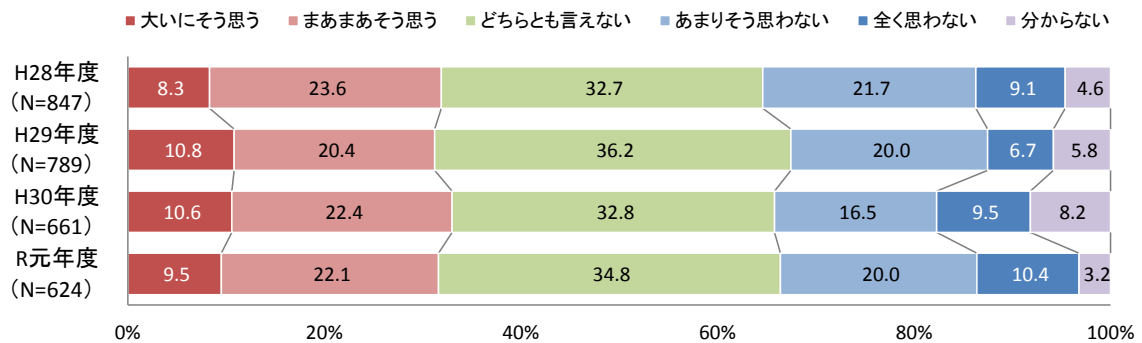


(6) 医療・福祉環境の満足度／奄美は、医療機関や福祉が充実していると思いますか？

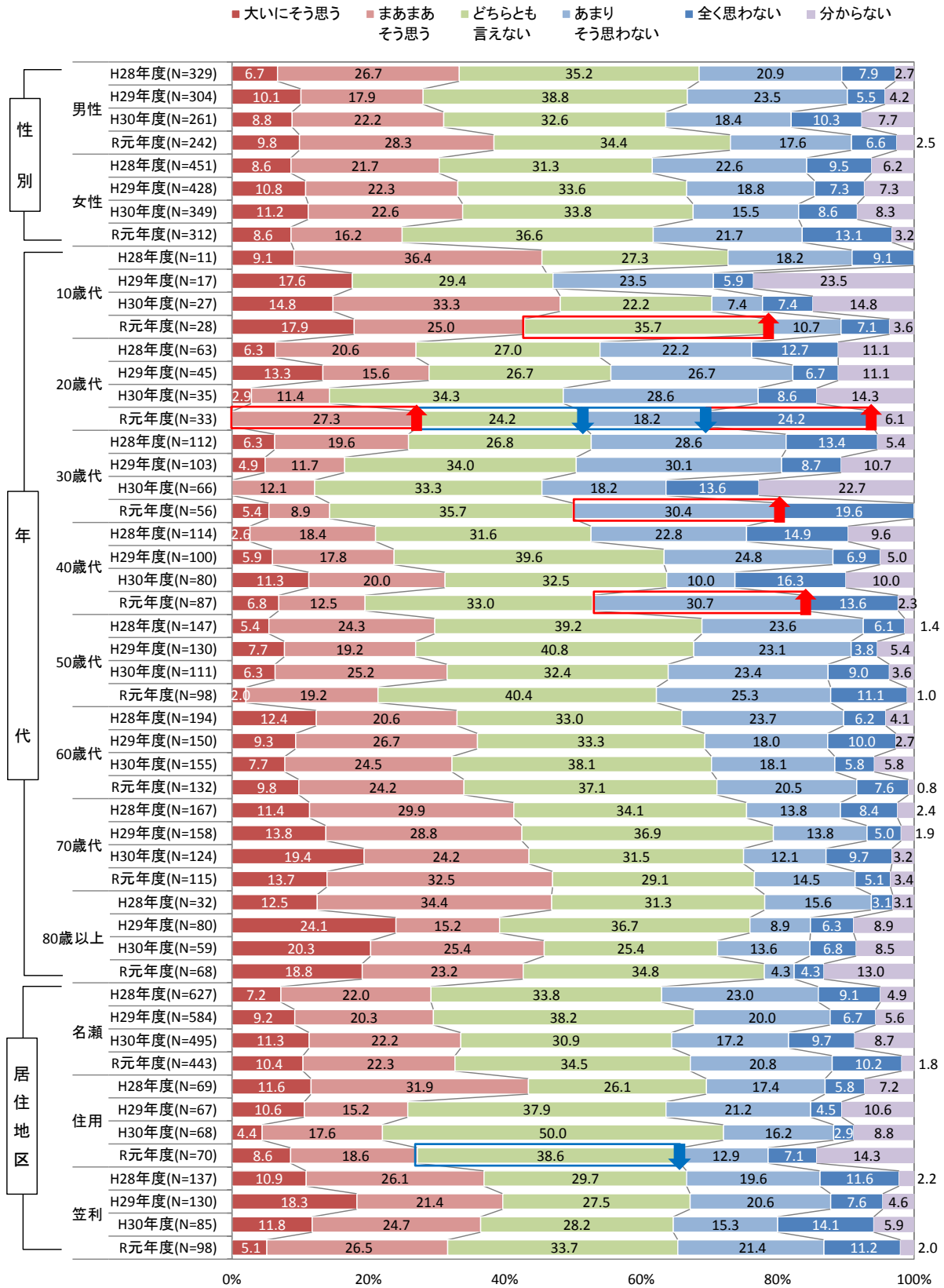
医療機関や福祉が充実していると思うか（医療・福祉環境の満足度）について、令和元年度は平成30年度から「あまりそう思わない」が3.5ポイント増加、「分からない」が5.0ポイント減少し、『そう思う』が1.4ポイント減少、『そう思わない』が4.4ポイントの増加となった。平成29年度と比較すると、「全く思わない」が3.7ポイント増加し、『そう思う』が0.4ポイント増加、『そう思わない』が3.7ポイント増加となっている。同様に、平成28年度と比較すると、『そう思う』と『そう思わない』がそれぞれ0.3ポイント、0.4ポイントの減少となった。

属性別にみると、平成30年度から10ポイント以上増減しているのは、年代別では10歳代の「どちらとも言えない」が増加、20歳代の「まあまあそう思う」と「全く思わない」が増加、「どちらとも言えない」と「あまりそう思わない」が減少、30歳代と40歳代の「あまりそう思わない」がともに増加、居住地区別では住用の「どちらとも言えない」が減少している。

〔医療・福祉環境の満足度／奄美は、高齢者がかかる医療機関や福祉が充実していると思いますか？ 経年比較〕



〔医療・福祉環境の満足度／奄美は、高齢者がかかる医療機関や福祉が充実していると思いますか？ 属性別経年比較〕

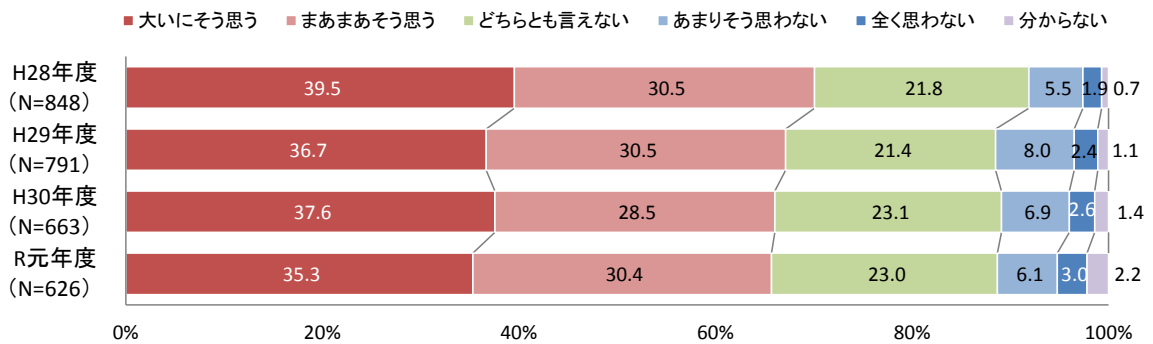


(7) 地産地消度／あなたは地元産の食材を食べた時に幸せだと思えますか？

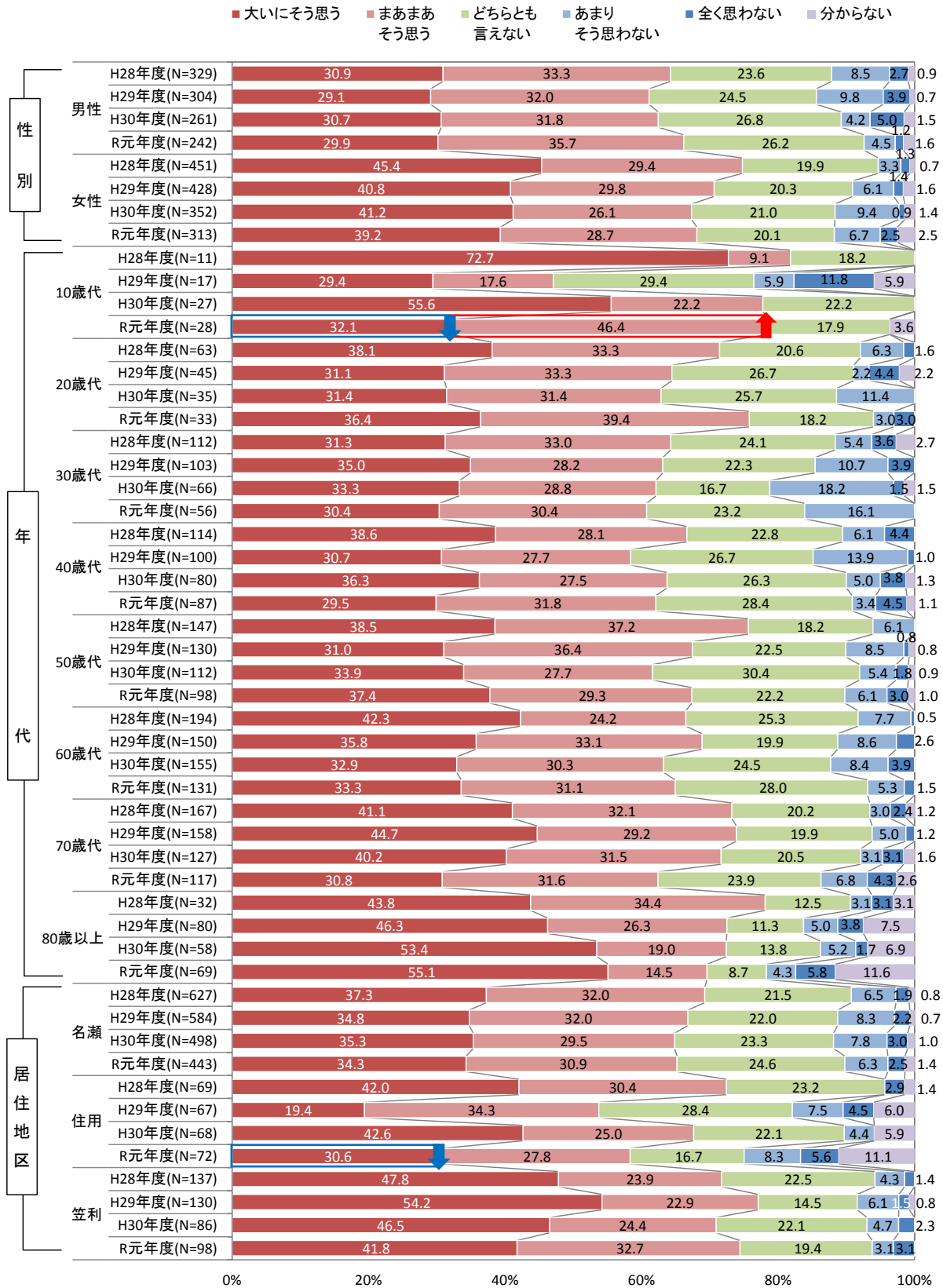
地元産の食材を食べた時に幸せだと思えるか（地産地消度）について、令和元年度は平成30年度から、『そう思う』、『そう思わない』ともにそれぞれ0.4ポイント減少し、大きな変化は見られなかった。平成29年度と比較すると、『そう思う』が1.5ポイント減少、『そう思わない』も1.3ポイント減少となっている。同様に、平成28年度と比較すると、『そう思う』が4.3ポイント減少、『そう思わない』が1.7ポイントの増加となった

属性別にみると、平成30年度から10ポイント以上増減しているのは、年代別では10歳代の「大いにそう思う」が減少、「まあまあそう思う」が増加、居住地区別では住用の「大いにそう思う」が減少している。

〔地産地消度／あなたは地元産の食材を食べた時に幸せだと思えますか？ 経年比較〕



〔地産地消度／あなたは地元産の食材を食べた時に幸せだと思えますか？ 属性別経年比較〕

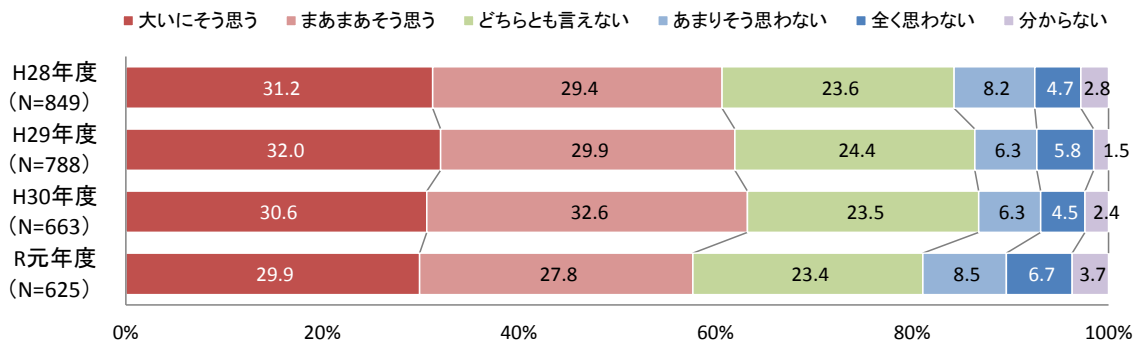


(8) 招待意向度／あなたは奄美に友人・知人を呼びたいと思いますか？

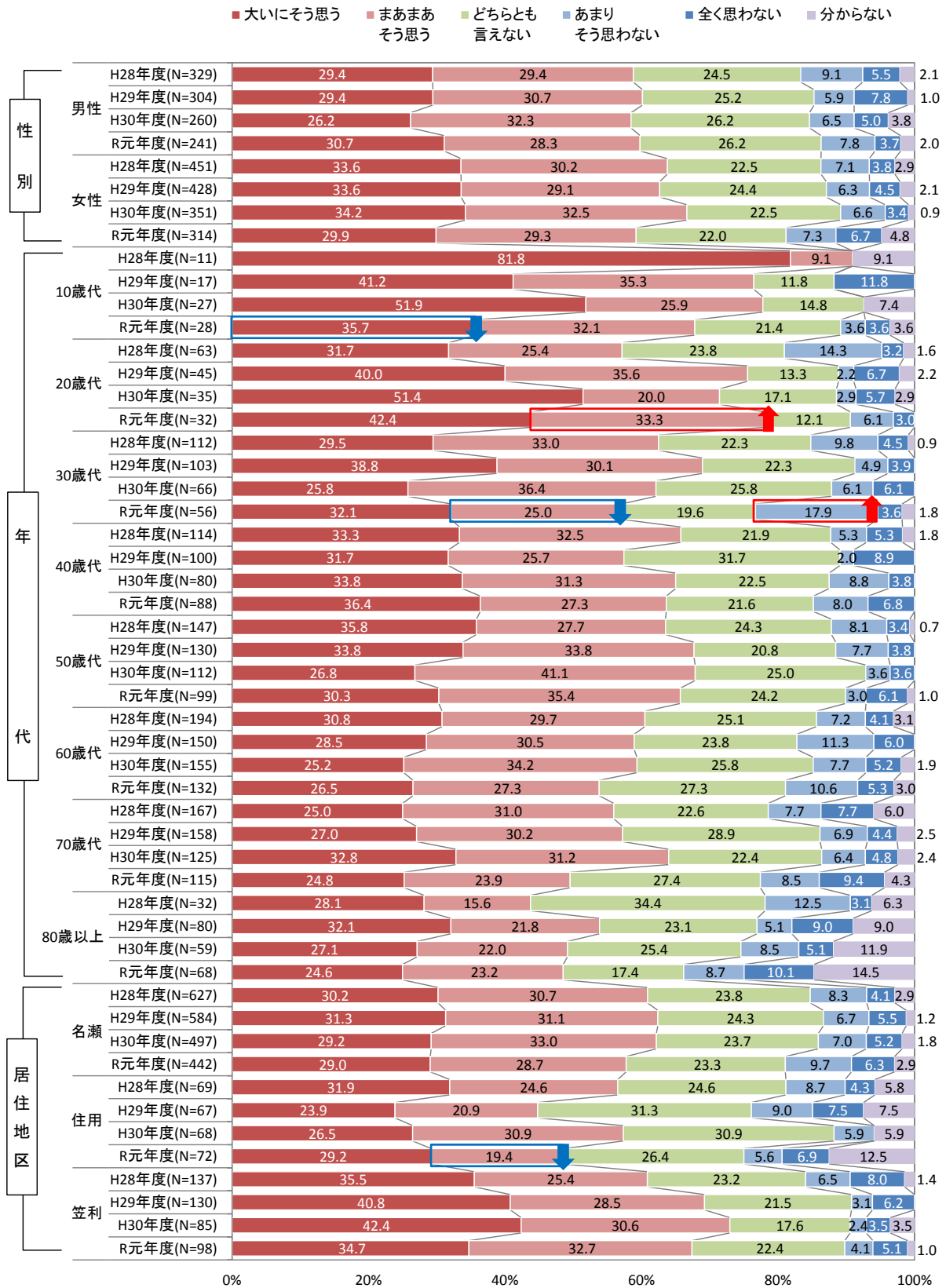
奄美に友人・知人を呼びたいと思うか（招待意向度）について、令和元年度は平成 30 年度から、「まあまあそう思う」が 4.8 ポイント減少、『そう思う』が 5.5 ポイント減少、『そう思わない』が 4.4 ポイントの増加となった。平成 29 年度と比較すると、『そう思う』が 4.2 ポイント減少、『そう思わない』が 3.1 ポイントの増加となっている。同様に、平成 28 年度と比較すると、『そう思う』が 2.9 ポイント減少、『そう思わない』が 2.3 ポイントの増加となった。

属性別にみると、平成 30 年度から 10 ポイント以上増減しているのは、年代別では 10 歳代の「大いにそう思う」が減少、20 歳代の「まあまあそう思う」が増加、30 歳代の「まあまあそう思う」が減少、「あまりそう思わない」が増加、居住地区別では住用の「まあまあそう思う」が減少している。

〔招待意向度／あなたは奄美に友人・知人を呼びたいと思いますか？ 経年比較〕



〔招待意向度／あなたは奄美に友人・知人を呼びたいと思いますか？ 属性別経年比較〕

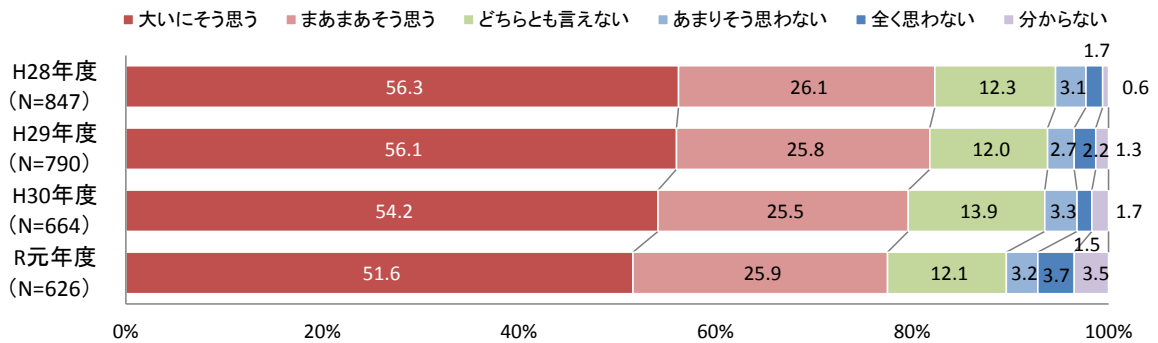


(9) おもてなし意向度／あなたは島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいですか？

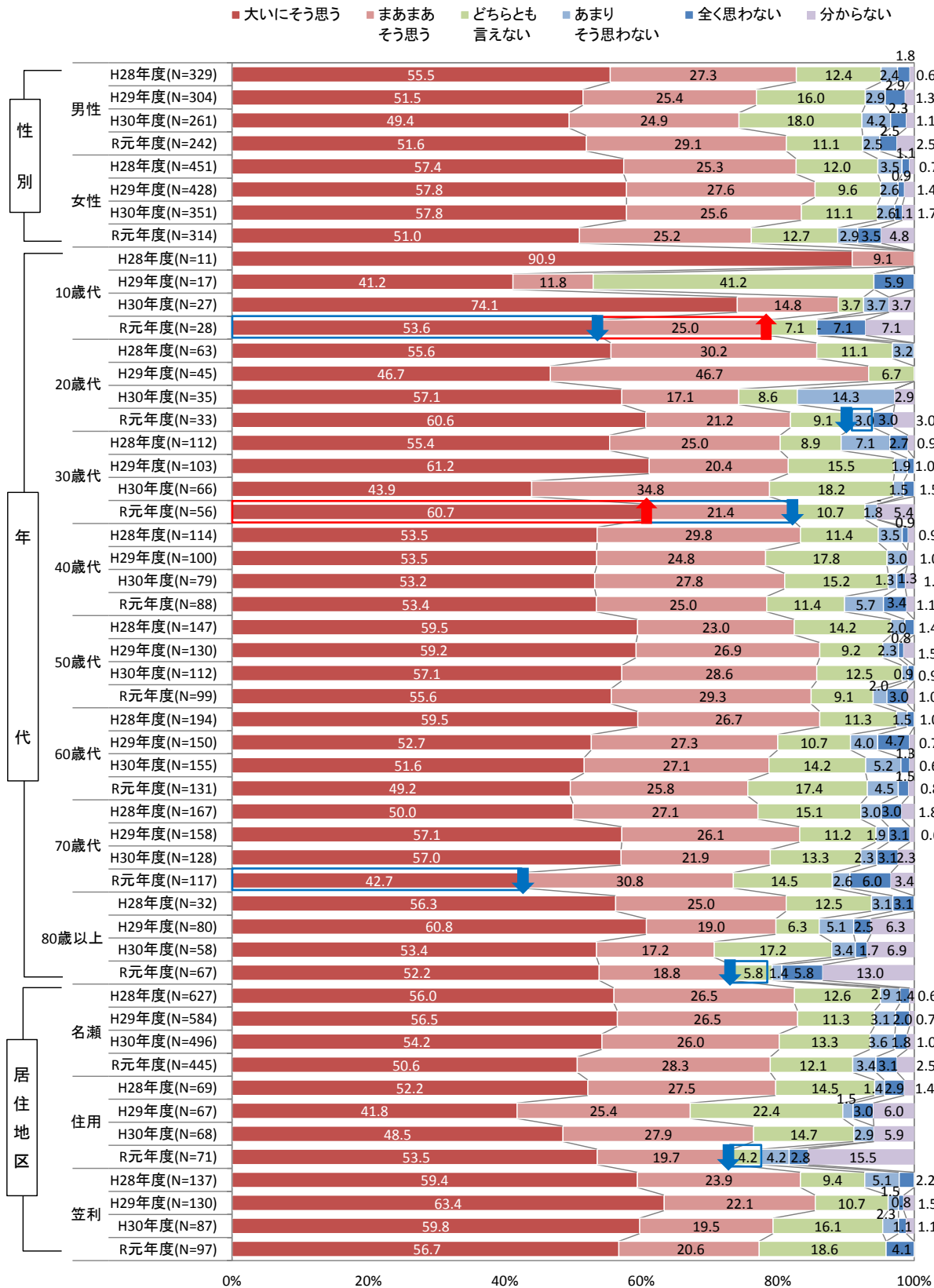
島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいか（おもてなし意向度）について、令和元年度は平成30年度から、『そう思う』が2.2ポイント減少、『そう思わない』が2.1ポイントの増加となった。平成29年度と比較すると、「大いにそう思う」が4.5ポイント減少し、『そう思う』が4.4ポイント減少、『そう思わない』が2.0ポイント増加となっている。同様に、平成28年度と比較すると、『そう思う』が4.9ポイント減少、『そう思わない』が2.1ポイントの増加となった。

属性別にみると、平成30年度から10ポイント以上増減しているのは、年代別では10歳代の「大いにそう思う」が減少、「まあまあそう思う」が増加、20歳代の「あまりそう思わない」が減少、30歳代の「大いにそう思う」が増加、「まあまあそう思う」が減少、70歳代の「大いにそう思う」と80歳以上の「どちらとも言えない」が減少、居住地区別では住用の「どちらとも言えない」が減少している。

〔おもてなし意向度／あなたは島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいですか？ 経年比較〕



〔おもてなし意向度／あなたは島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいですか？ 属性別経年比較〕

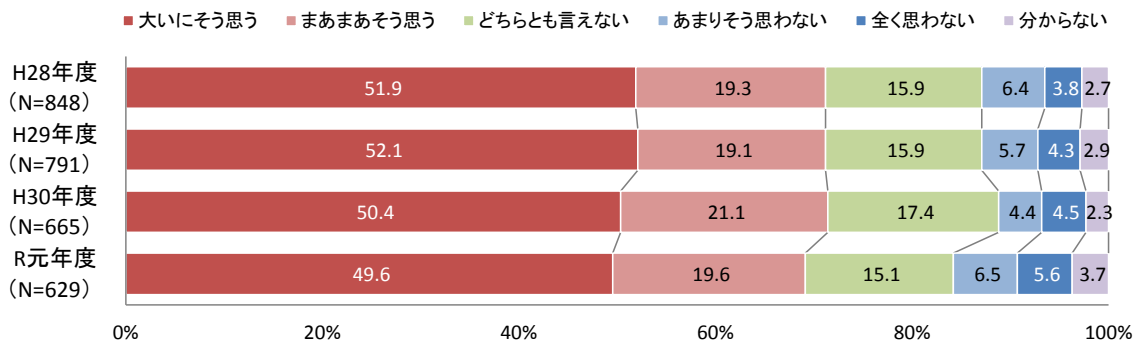


(10) 永住希望度／あなたは奄美に今後も住み続けたいですか？

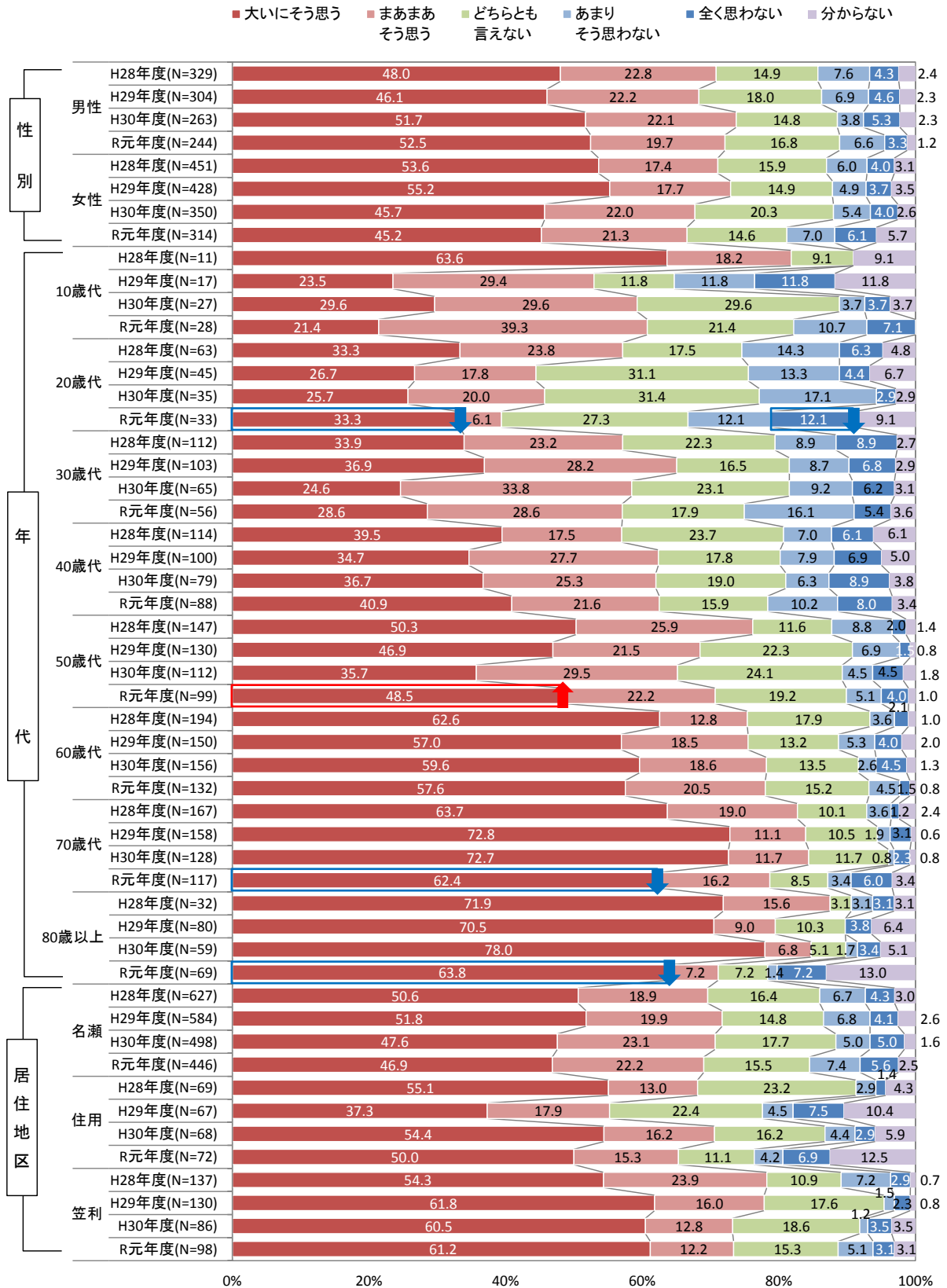
奄美に今後も住み続けたいか（永住希望度）について、令和元年度は平成 30 年度から、『そう思う』が 2.3 ポイント減少、『そう思わない』が 3.2 ポイントの増加となった。平成 29 年度と比較すると、『そう思う』が 2.0 ポイント減少、『そう思わない』が 2.1 ポイント増加となっている。同様に、平成 28 年度と比較すると、『そう思う』が 2.0 ポイント減少、『そう思わない』が 1.9 ポイントの増加となった。

属性別にみると、平成 30 年度から 10 ポイント以上増減しているのは、年代別では、20 歳代の「まあまあそう思う」が減少、50 歳代の「大いにそう思う」が増加、70 歳代と 80 歳以上の「大いにそう思う」がともに減少している。

〔永住希望度／あなたは奄美に今後も住み続けたいですか？ 経年比較〕



〔永住希望度／あなたは奄美に今後も住み続けたいですか？ 属性別経年比較〕



参考資料

アンケート調査票



令和元年度奄美幸福度調査アンケート



問1 あなたの実感に最も近い番号に1つ○をつけて下さい。

項目	まったく 思わない	→				大いに 思う	分から ない
あなたは日常生活に対して満足していますか？	1	2	3	4	5	0	
あなたは将来に希望を持っていますか？	1	2	3	4	5	0	
あなたが困っている時、助けてくれる人や相談できる人はいますか？	1	2	3	4	5	0	
あなたは奄美が好きですか？	1	2	3	4	5	0	
奄美は、子どもがいいきと健やかに、心豊かに育つ島であると思いますか？	1	2	3	4	5	0	
奄美は、医療機関や福祉が充実していると思いますか？	1	2	3	4	5	0	
あなたは地元産の食材を食べた時に幸せだなと思いますか？	1	2	3	4	5	0	
あなたは奄美に友人・知人を呼びたいと思いますか？	1	2	3	4	5	0	
あなたは島外からのお客様の喜ぶ顔を見たいですか？	1	2	3	4	5	0	
あなたは奄美に今後も住み続けたいですか？	1	2	3	4	5	0	

問2 あなたが、日々の生活で「幸せ」または「満足」に感じることは何ですか？
また、日々の生活で「不幸」または「不満」に感じることは何ですか？
自由にご記入ください。

「幸せ」または「満足」に感じること：
「不幸」または「不満」に感じること：

※あなたご自身のことについておうかがいします。

◎あなたの性別、年齢、居住地区をお答えください（各○は1つ。）

性別	1. 男性	2. 女性						
年齢	1. 10歳代	2. 20歳代	3. 30歳代	4. 40歳代	5. 50歳代	6. 60歳代	7. 70歳代	8. 80歳以上
居住地区	1. 名瀬	2. 住用	3. 笠利					

令和元年度奄美市幸福度調査アンケート
調査結果報告書

令和元年 9 月

実施主体／奄美市総務部企画調整課

〒894-8555 奄美市名瀬幸町 25 番 8 号

TEL 0997-52-1111 FAX 0997-52-1001

調査機関／株式会社九州経済研究所

〒892-0826 鹿児島市泉町 3 番 3 号

TEL 099-225-7491 FAX 099-226-5975

<http://www.ker.co.jp>